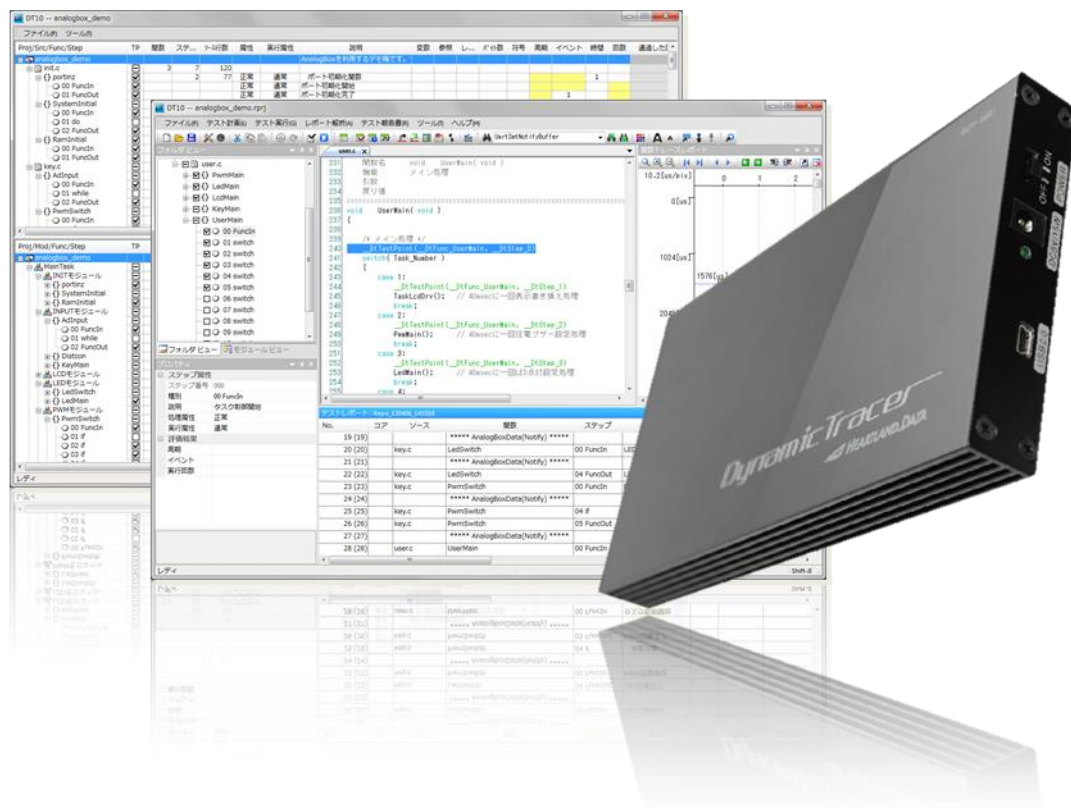


Ver.1.0.4

動的テストツール
DT10 ディーティーテン

Automotive Edition

インストールマニュアル



ハートランド・データ株式会社

〒326-0338 栃木県足利市福居町 361

TEL: 0284-22-8791 / FAX: 0284-22-8792

URL: <http://www.hldc.co.jp>

本マニュアルについて

- 本マニュアルは、『DT10 Automotive Edition(ディーティーンオートモーティブエディション)』アプリケーションのインストール 及びライセンスのセットアップについて説明されております。
- 本プログラム及び説明書は、著作権法で保護されており、弊社の文書による許可がない限り、複製、転載、改変など一切できません。
- 本製品の内容及び仕様は、予告なしに変更されることがあります。
- 本製品は、万全の注意を払って作成されておりますが、ご利用になった結果については、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- Microsoft、Windows、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- その他記載された会社名及びロゴ、製品名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

目次

1. DT10 Automotive Edition のインストール	- 1 -
1.1. サポートプラットフォーム	- 1 -
1.1.1. 日本語版オペレーティングシステム	- 1 -
1.1.2. コンピュータ本体	- 1 -
1.1.3. メモリ	- 1 -
1.1.4. ハードディスク	- 1 -
1.1.5. ディスプレイ	- 2 -
1.2. インストールの手順	- 2 -
1.3. アプリケーションのセットアップ【32bitOS】	- 3 -
1.3.1. 前提条件の確認とインストール	- 3 -
1.3.2. アプリケーションと各ツールのインストール	- 5 -
1.4. アプリケーションのセットアップ【64bitOS】	- 10 -
1.4.1. 前提条件の確認とインストール	- 10 -
1.4.2. アプリケーションと各ツールのインストール	- 12 -
1.5. DynamicTracer の USB ドライバのセットアップ	- 17 -
1.6. DT10 Automotive Edition のインストールに関するトラブルシューティング	- 18 -
1.7. DT10 Automotive Edition のアンインストール	- 24 -
1.7.1. 「プログラムの追加と削除」からのアンインストール	- 24 -
1.7.2. 「setup.exe」からアンインストール	- 24 -
2. ノードロックライセンスのセットアップ	- 25 -
2.1. ノードロックライセンスのセットアップ	- 25 -
2.2. ノードロックライセンスの更新	- 27 -
2.3. ノードロックライセンスに関するトラブルシューティング	- 27 -
2.4. マシンの固有情報の確認方法	- 28 -
3. フローティングライセンスのセットアップ	- 29 -
3.1. Windows サーバーのセットアップ	- 29 -
3.1.1. Windows サーバーのサポートプラットフォーム	- 29 -
3.1.2. セットアップ前の確認事項	- 30 -
3.1.3. ライセンスマネージャのインストール	- 31 -
3.1.4. クライアントマシンのセットアップ	- 37 -
3.1.5. ライセンシングの確認	- 38 -
3.1.6. ライセンスマネージャのアンインストール	- 40 -
3.2. Windows サーバーのライセンス更新	- 41 -
3.2.1. ライセンスサーバーマシンにおける更新	- 41 -

3.2.2.	クライアントマシンにおける更新	- 41 -
3.2.3.	ライセンスの確認	- 41 -
3.3.	Linux サーバーのセットアップ	- 42 -
3.3.1.	Linux サーバーのサポートプラットフォーム	- 42 -
3.3.2.	セットアップ前の確認事項	- 43 -
3.3.3.	ライセンスマネージャのインストール	- 43 -
3.3.4.	クライアントマシンのセットアップ	- 45 -
3.3.5.	ライセンスの確認	- 46 -
3.3.6.	ライセンスマネージャのアンインストール	- 47 -
3.4.	Linux サーバーのライセンス更新	- 48 -
3.4.1.	ライセンスサーバーマシンにおける更新	- 48 -
3.4.2.	クライアントマシンにおける更新	- 48 -
3.4.3.	ライセンスの確認	- 48 -
3.5.	フローティングライセンスに関するトラブルシューティング	- 49 -
4.	変更履歴	- 57 -

1. DT10 Automotive Edition のインストール

本章では、DT10 Automotive Edition(以下、DT10AE)アプリケーションをインストールする為の準備、及びインストール方法について説明します。

1.1. サポートプラットフォーム

DT10AE 及び DT10AE が有する各ツールがサポートするプラットフォームは次の通りです。

1.1.1. 日本語版オペレーティングシステム

- ・ Windows7
- ・ Windows8/8.1
- ・ Windows10

※32bit 版・64bit 版にそれぞれ対応しています。

※WindowsInstaller3.1 及び Microsoft.NET Framework2.0 以上がインストールされていること

(未インストールの PC にはセットアップできません。その場合、Windows Update を実施してインストールしてください)

1.1.2. コンピュータ本体

- ・ PC/AT 互換機のみ
- ・ Pentium4 2GHz 相当以上のプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータが必要
- ・ 2CPU 以上のシステムを推奨
- ・ Hi-Speed 転送に対応した USB2.0 ポートが利用可能であること(USB1.0 には対応しておりません)

1.1.3. メモリ


- ・ 1GB 以上の実装メモリが必要
- ・ 2GB 以上の実装メモリを推奨

1.1.4. ハードディスク


- ・ DT10AE のインストールには、100MB 以上の空き容量が必要
 - ・ テストレポート解析には 2GB 以上の空き容量が必要
- また、テストレポート収集に別途 1GB 以上の空き容量が必要

1.1.5. ディスプレイ

- ・ ディスプレイ解像度 XGA(1024 x 768 ピクセル)以上が必要
- ・ ディスプレイ解像度 WXGA+(1440 x 900 ピクセル)以上を推奨
- ・ ディスプレイの文字サイズは既定値、または標準サイズでご使用ください

 注意	<p>インストールには、管理者権限が必須になります。</p> <p>管理者権限を持ったユーザーで、インストールを実行してください。</p>
	<p>インストールしたアプリケーションは、管理者権限がないユーザーでも使用可能です。</p>

1.2. インストールの手順

 注意	<p>既に DT10AE Ver11.10 をインストールしている場合は、必ずアンインストールしてから、最新 Version をインストールしてください。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------

DT10 Automotive Edition は、「DT10 Automotive Edition」と「DT-ProjectBuilder」の 2 つのアプリケーションから構成されます。

アプリケーションを Windows マシン(以下、マシンと省略します)にインストールするには、次の手順に従ってください。

なお、アプリケーションのインストーラーについては、弊社サポートサイトからダウンロードをしていただくか、

弊社が提供する CD-ROM 内にあるインストーラーをご使用ください。

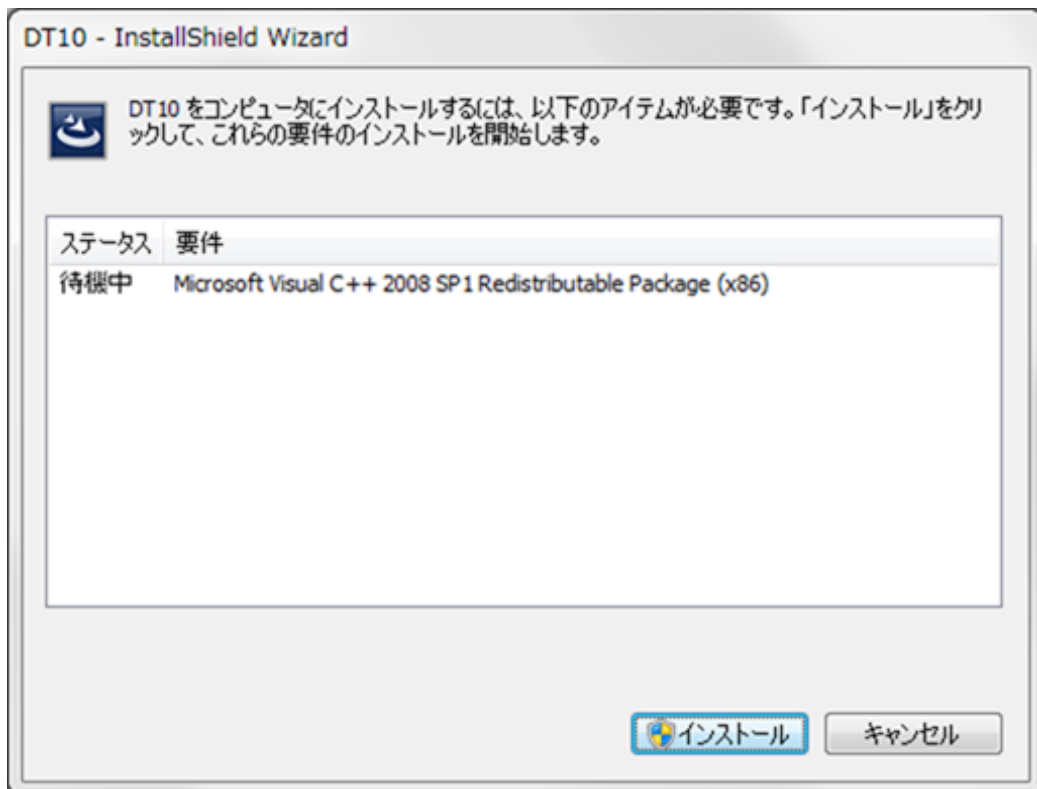
1. マシンに DynamicTracer が接続されていない事を確認してください。
2. ダウンロードしたセットアップファイルの中から、『setup.exe』を実行してください。
3. 他の実行しているソフトなどは終了し、バックグラウンドで動作しているウイルス対策ソフトなども OFF にして、安定した環境で実行されることを推奨します。画面の指示に従って、インストールを実施します。
4. インストール完了後、DT10AE アプリケーションを起動してください。
 - ※この段階で、ライセンスがセットアップされていない。もしくは、ライセンスが無効な場合は、「Free Edition」で起動します。
 - ライセンスが有効な場合は、「Automotive Edition」で起動します。
 - 各ライセンスのセットアップ方法については、後述の別章で説明します。
5. DynamicTracer 本体に、電源を入れて、付属の USB ケーブルでマシンと接続してください。
6. DynamicTracer の USB デバイスドライバをマシンにインストールしてください。
 - ※USB デバイスドライバのインストール方法は、後述の別章で説明します。

1.3. アプリケーションのセットアップ【32bitOS】

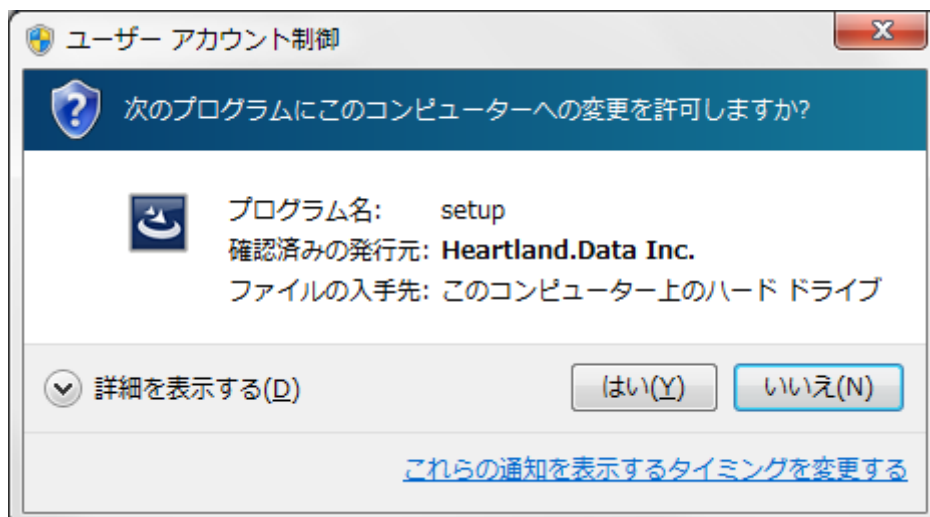
『setup.exe』を実行すると、DT10AE アプリケーションと必要ファイルのインストールが始まります。以下の手順に従いセットアップを完了させてください。

1.3.1. 前提条件の確認とインストール

『setup.exe』を実行した際、『Microsoft Visual C++ 2008 SP1 Redistributable Package(x86)』がインストールされていない場合、下記画面が表示されます。インストール済みの場合は、表示されず、次の項目に飛びます。

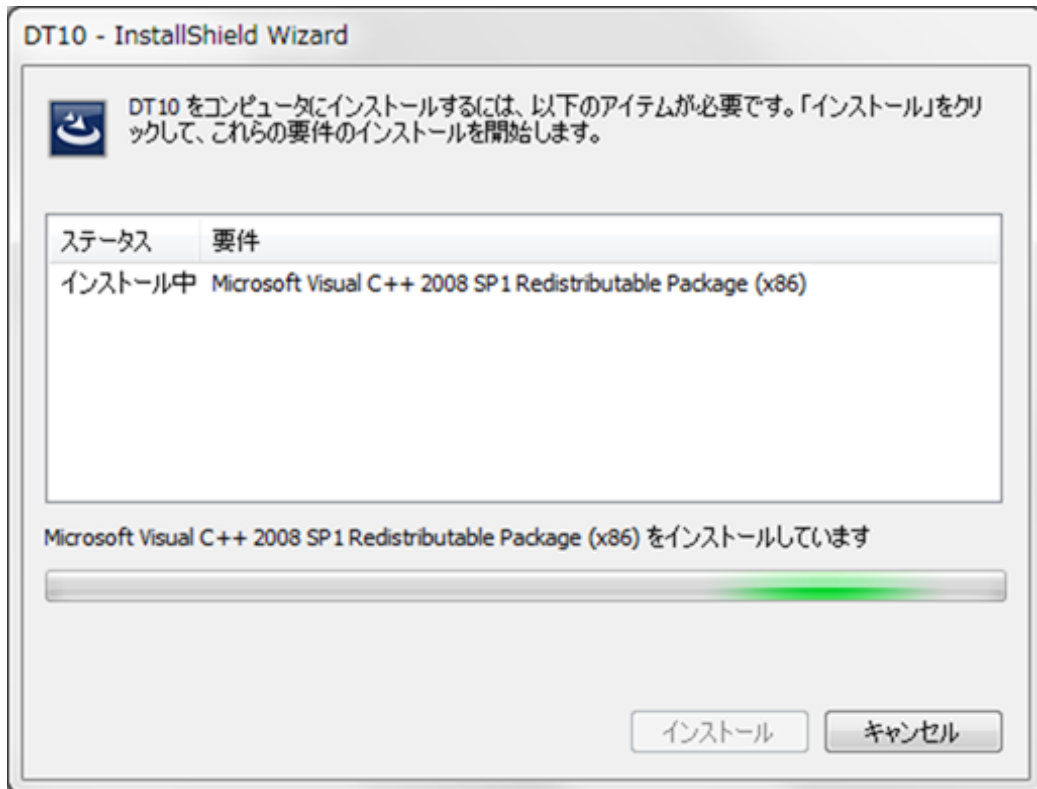


「インストール」ボタンをクリックすると、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。



発行元を確認し、「はい」をクリックすると、インストールが始まります。

Microsoft Visual C++ 2008 SP1 Redistributable がインストールされます。



インストールには、マシンによって数分かかる場合もあります。

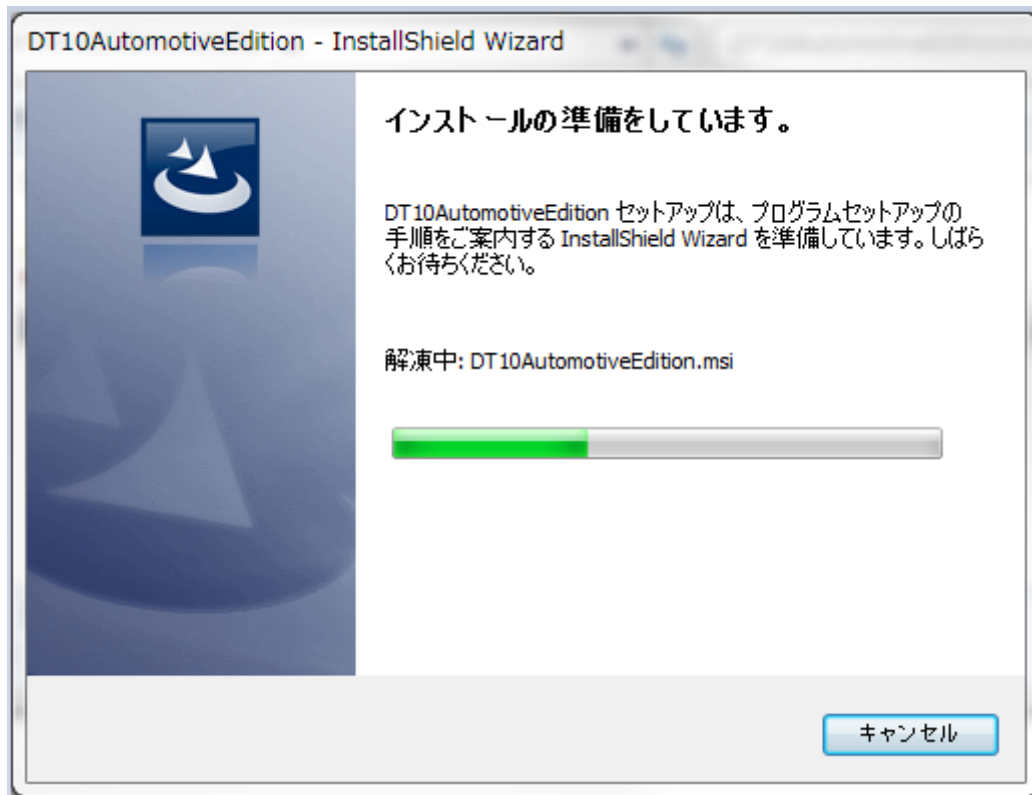
インストールが完了すると、続いて DT10AE アプリケーションのインストールが開始されます。

ただし、マシンの環境によっては、ここで再起動を促される場合があります。

その場合、ここでは再起動はせずに、「いいえ」を選択してインストール作業を続行してください。DT10AE セットアップ作業が完了しましたら、手動で再起動してください。

1.3.2. アプリケーションと各ツールのインストール

DT10AE のセットアップを開始すると、セットアップファイルの展開を行います。

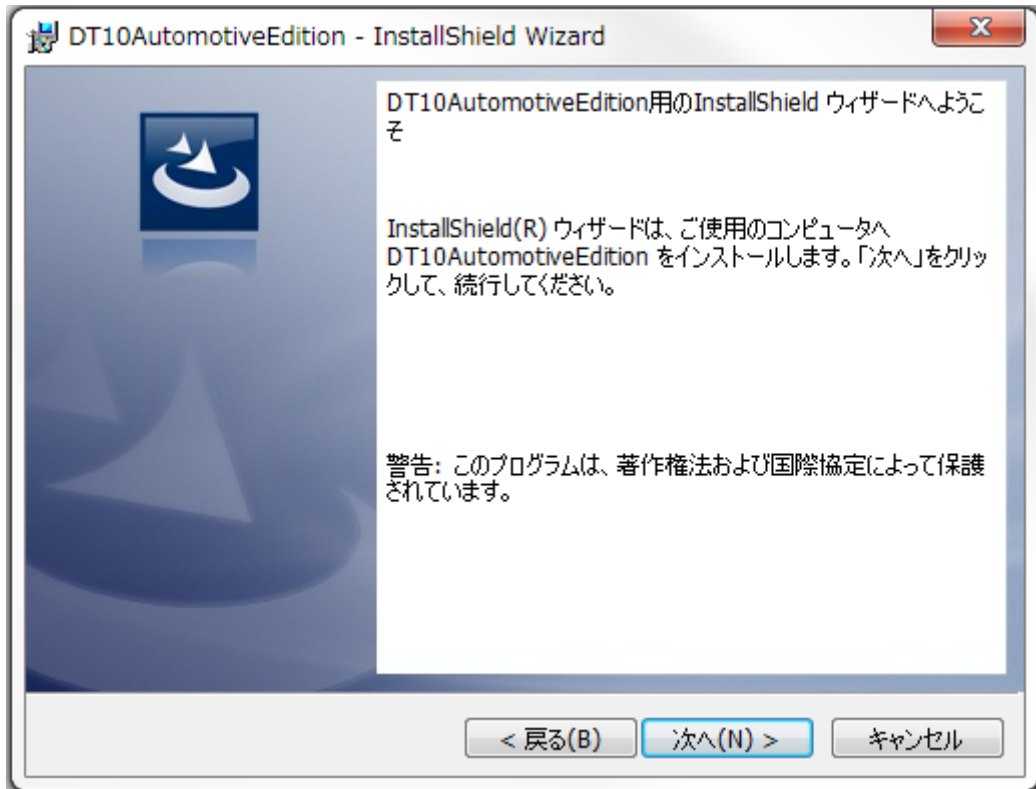


展開が完了し、インストール準備が整うと、スプラッシュ画面が表示されます。



「次へ」をクリックします。

「ようこそ」画面が表示されます。



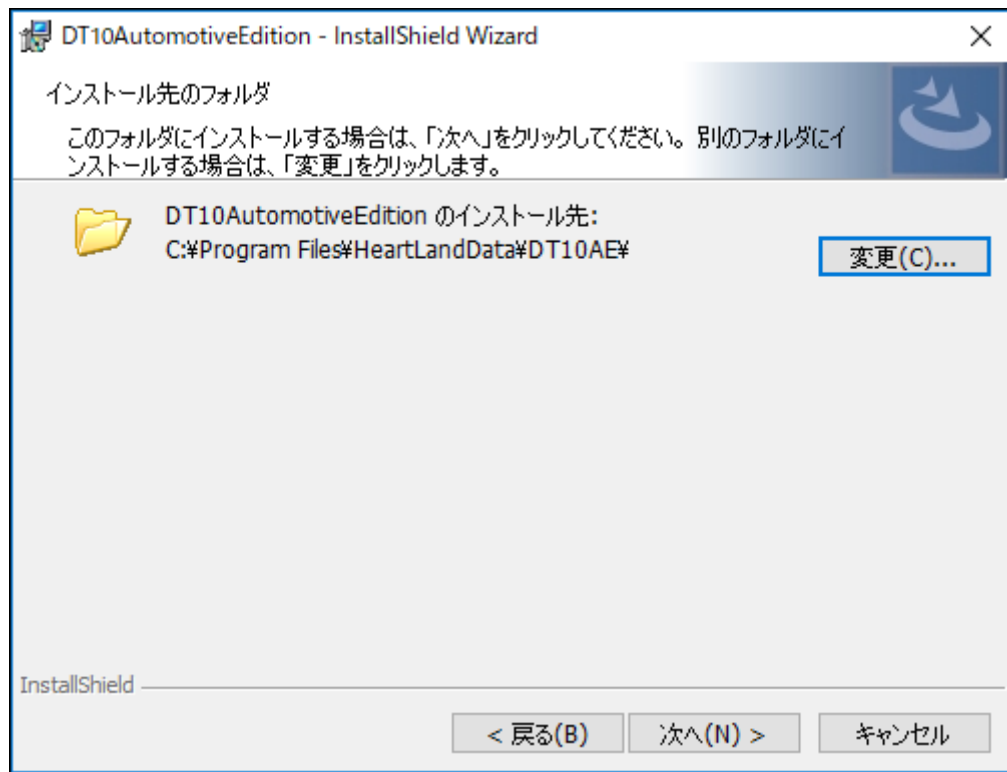
「次へ」をクリックします。

「使用許諾契約」画面が表示されます。



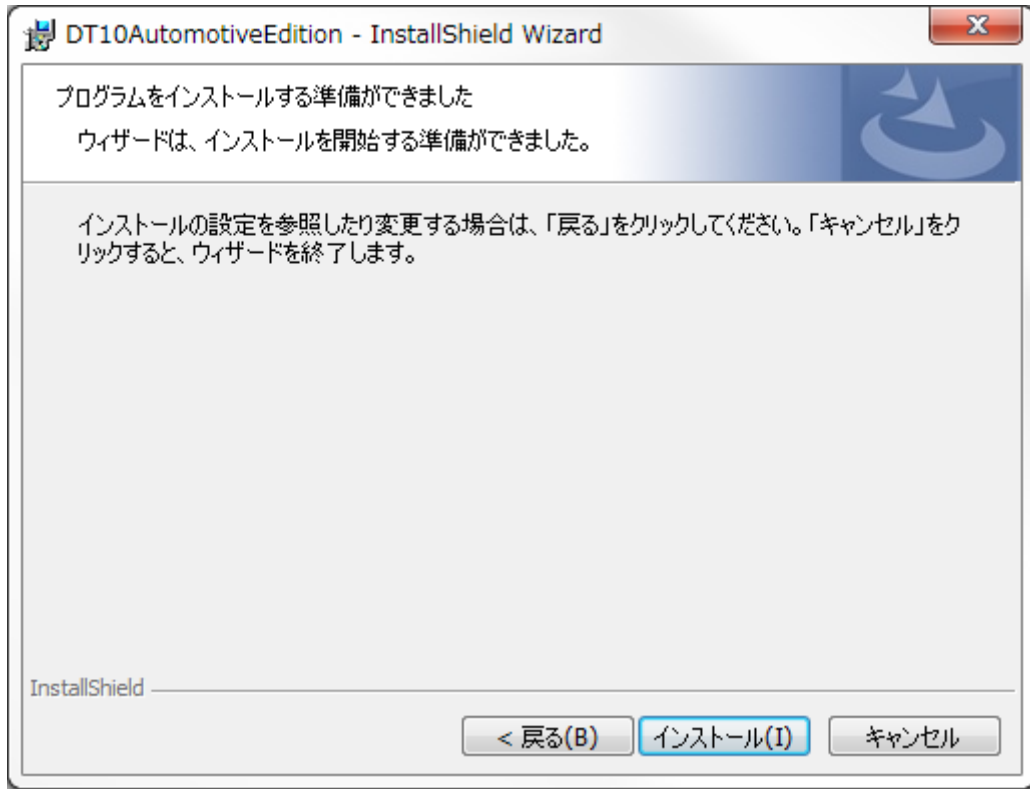
使用許諾契約書を確認の上、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックします。

「インストール先のフォルダ」画面が表示されます。

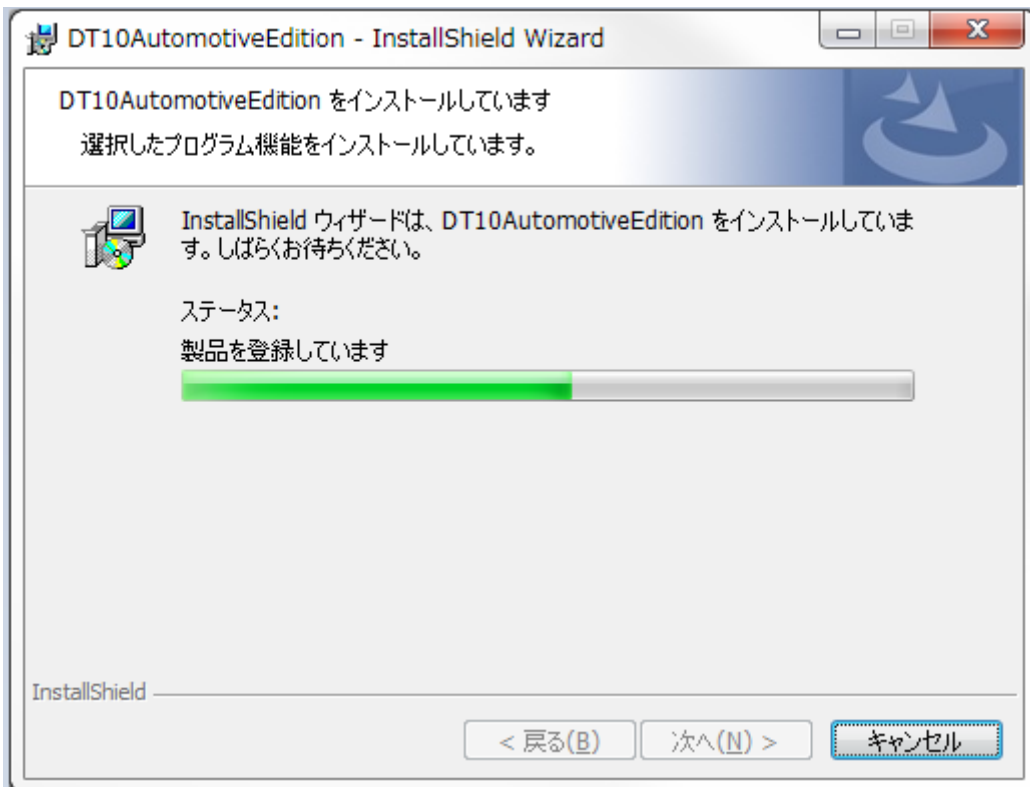


デフォルトのインストール先は、『[Program Files Path]HeartLandData\DT10AE』となります。[Program Files Path]はマシンに依存します(起動 OS のドライブ名等)。指定フォルダを変更する場合、「変更」ボタンをクリックしてフォルダを指定してください。インストール先が決まりましたら、「次へ」をクリックします。

「インストール準備完了」画面が表示されます。



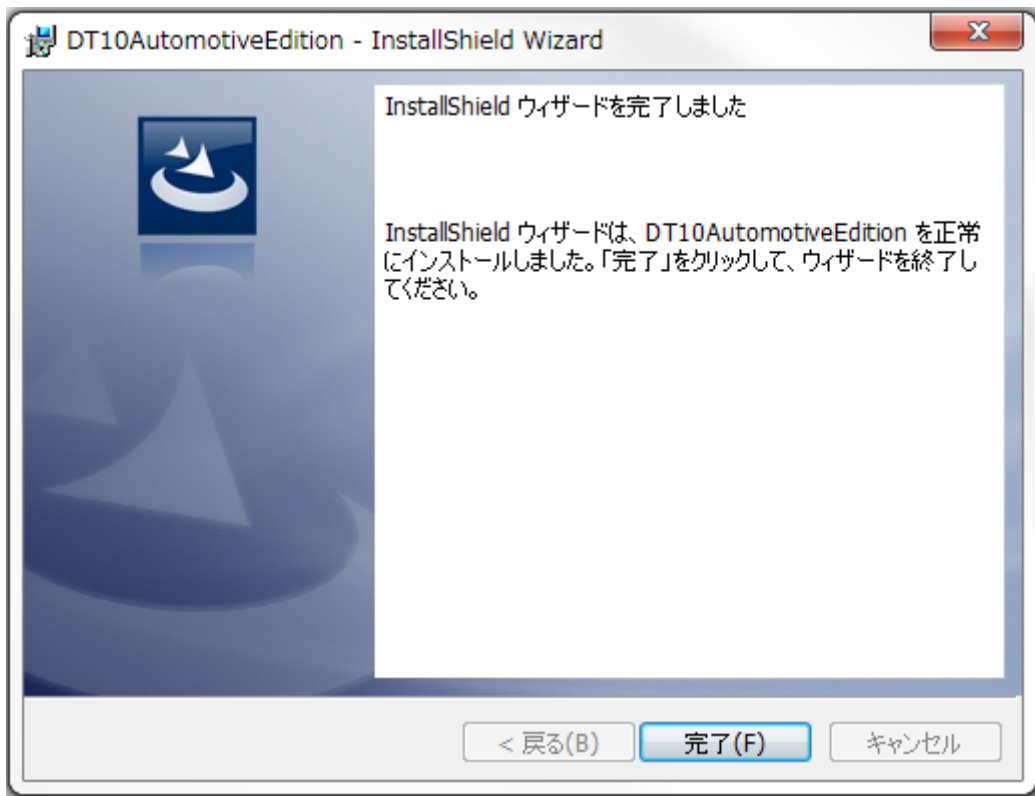
ここまでで設定した内容でインストールを開始してもよろしければ、「インストール」ボタンをクリックしてください。



インストール時間はマシンの状態などに大きく依存します。

数秒～数分かかります。

DT10AE が正常にインストールされると、以下の画面が表示されます。



「完了」ボタンをクリックして、セットアップを終了してください。

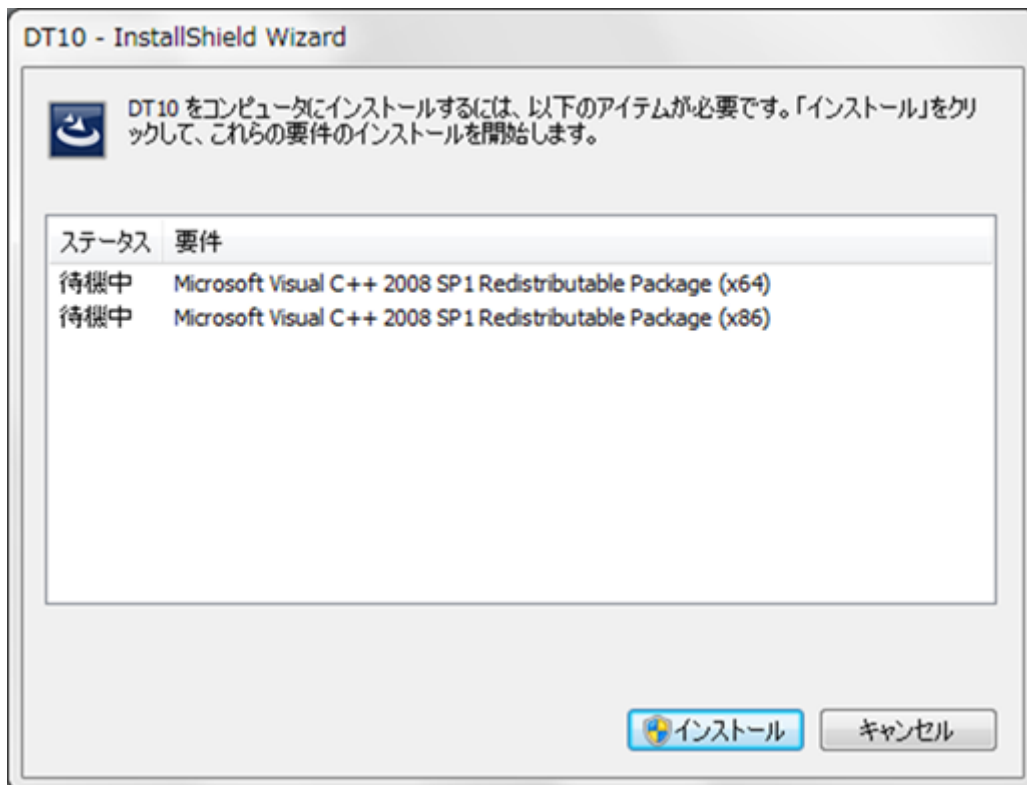
1.4. アプリケーションのセットアップ【64bitOS】

『setup.exe』を実行すると、DT10AE アプリケーションと必要ファイルのインストールが始まります。以下の手順に従いセットアップを完了させてください。

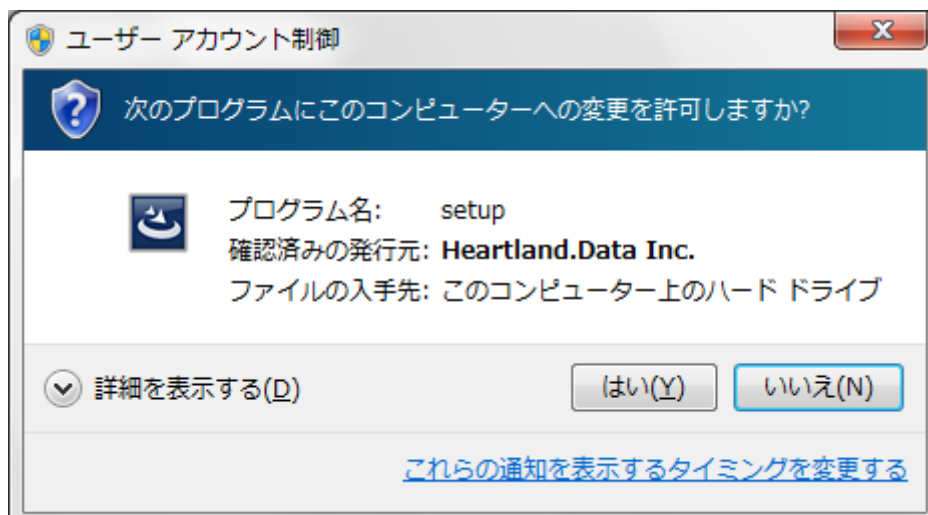
1.4.1. 前提条件の確認とインストール

『setup.exe』を実行した際、下記画面が表示されます。

『Microsoft Visual C++ 2008 SP1 Redistributable Package(x64)』と『Microsoft Visual C++ 2008 SP1 Redistributable Package(x86)』のインストールを行います。

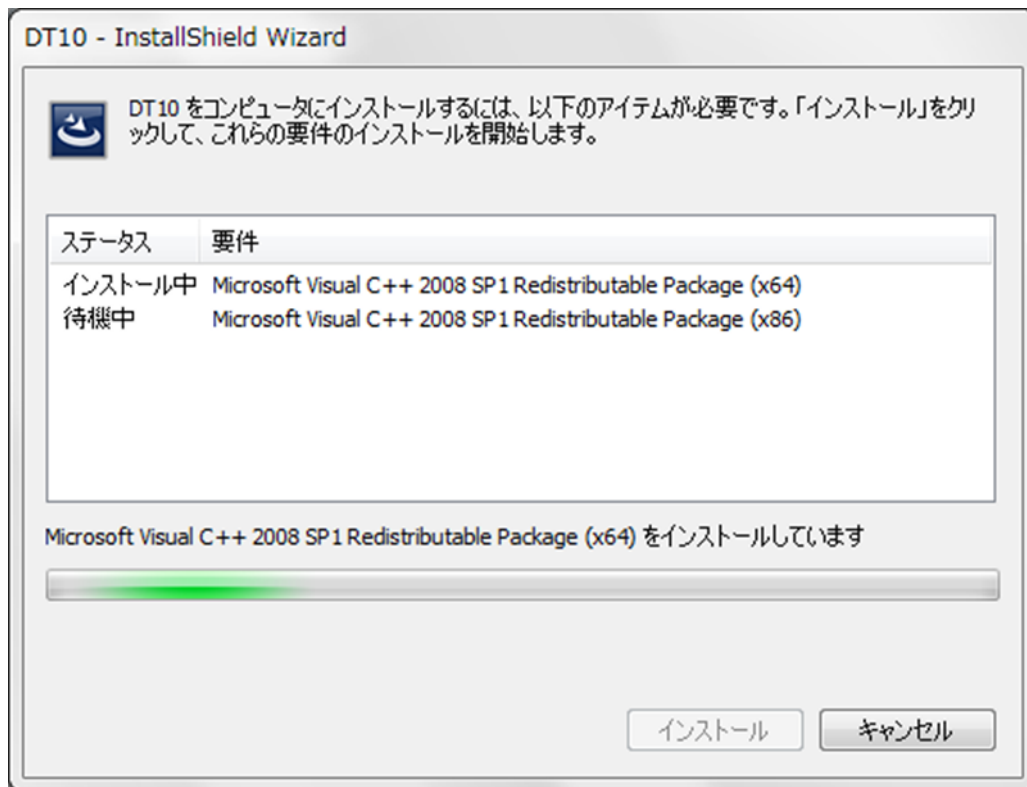


「インストール」ボタンをクリックすると、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。



発行元を確認し、「はい」をクリックすると、インストールが開始されます。

Microsoft Visual C++ 2008 SP1 Redistributable がインストールされます。



インストールには、マシンによって数分かかる場合もあります。

インストールが完了すると、続いて DT10AE アプリケーションのインストールが開始されます。

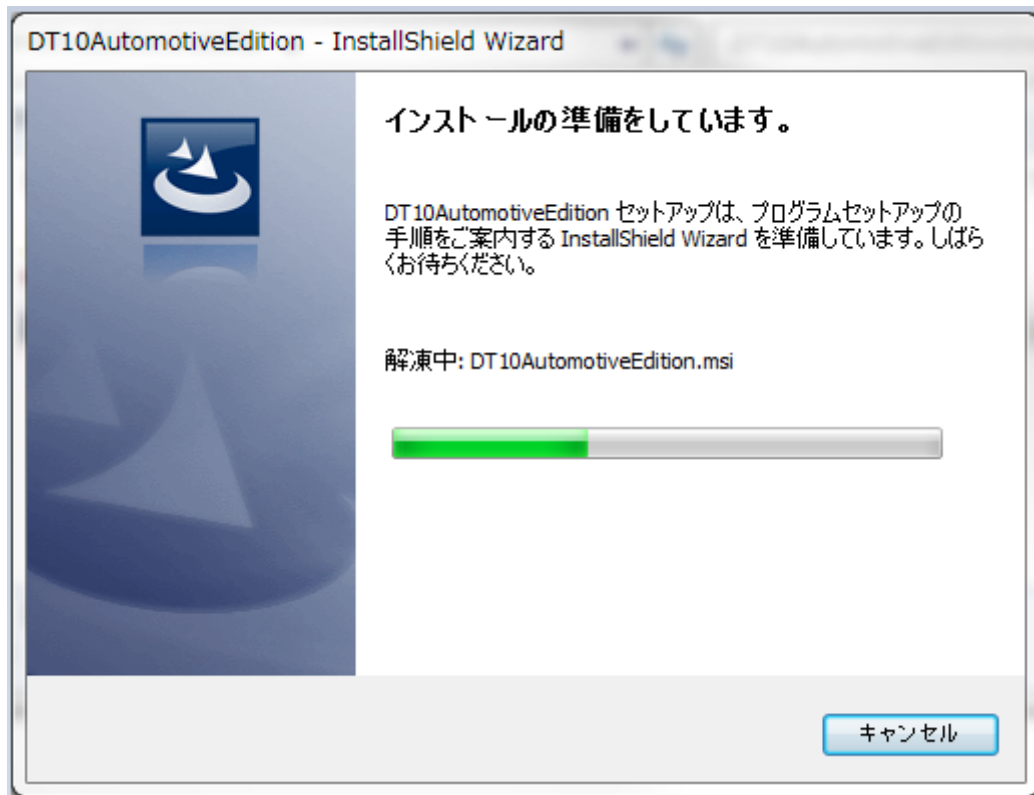
ただし、マシンの環境によっては、ここで再起動を促される場合があります。

その場合、ここでは再起動はせずに、「いいえ」を選択してインストール作業を続行してください。

DT10AE セットアップ作業が完了しましたら、手動で再起動してください。

1.4.2. アプリケーションと各ツールのインストール

DT10AE のセットアップを開始すると、セットアップファイルの展開を行います。

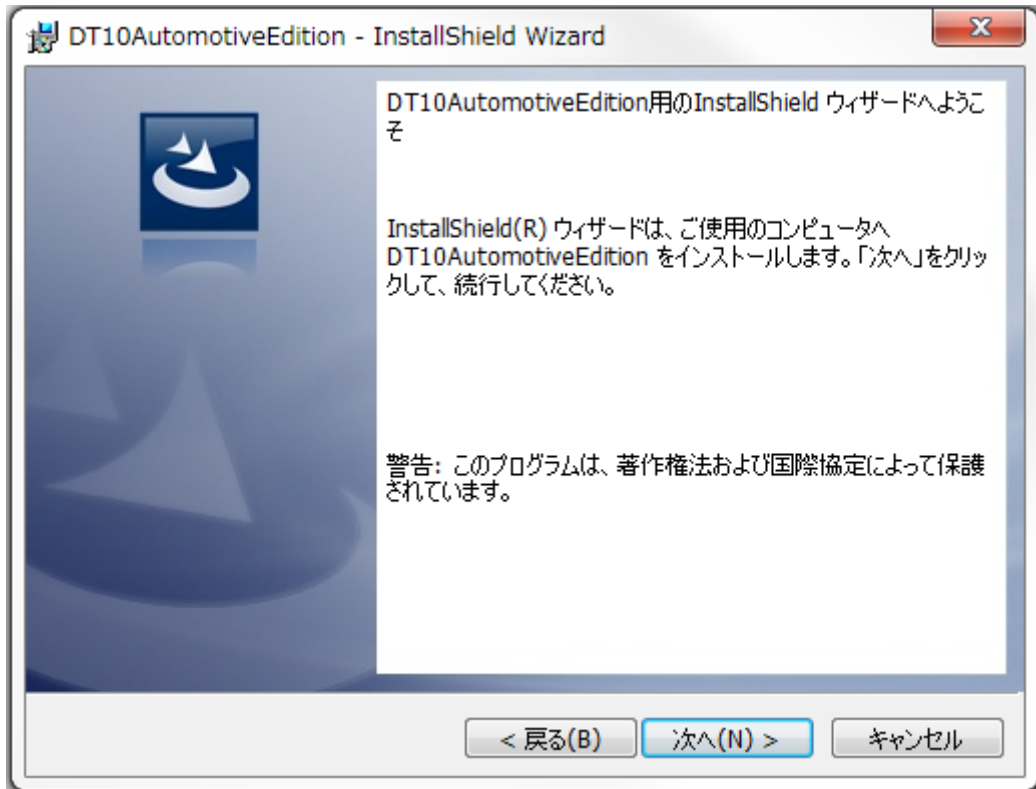


展開が完了し、インストール準備が整うと、スプラッシュ画面が表示されます。



「次へ」をクリックします。

「ようこそ」画面が表示されます。



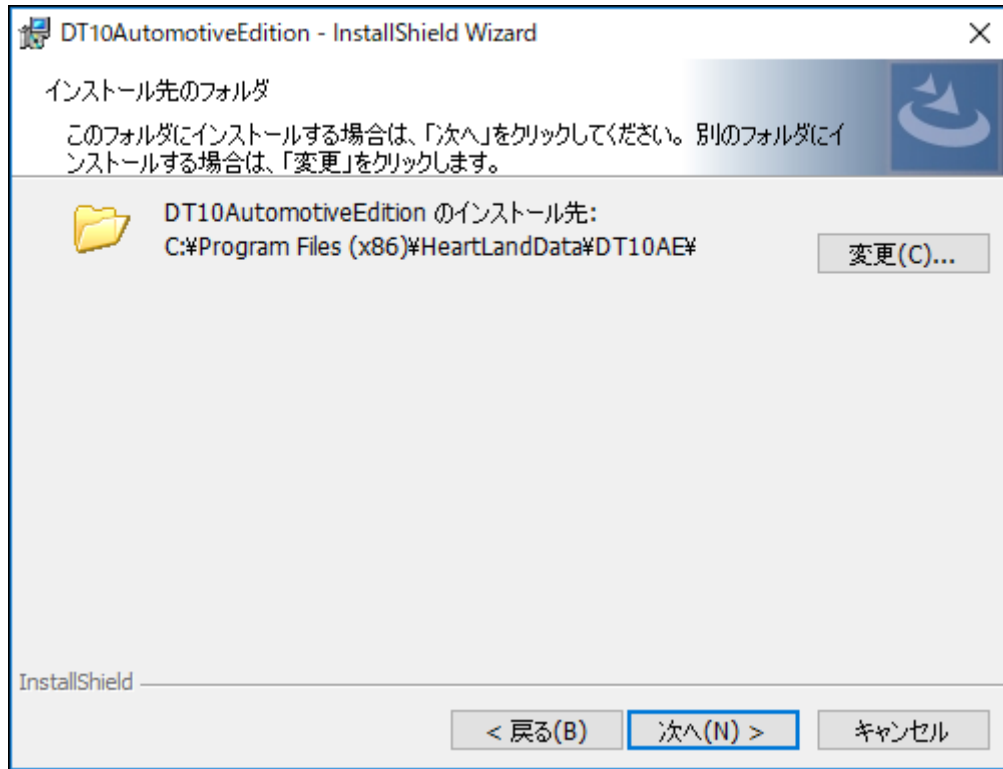
「次へ」をクリックします。

「使用許諾契約」画面が表示されます。



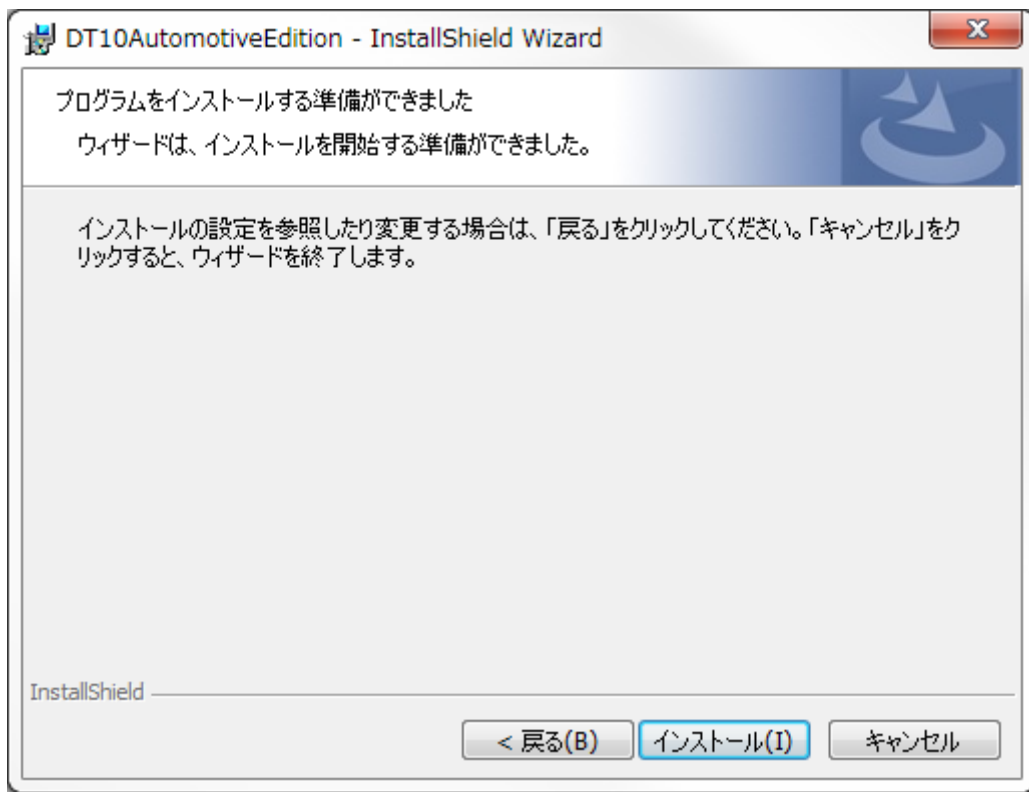
使用許諾契約書を確認の上、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックします。

「インストール先のフォルダ」画面が表示されます。

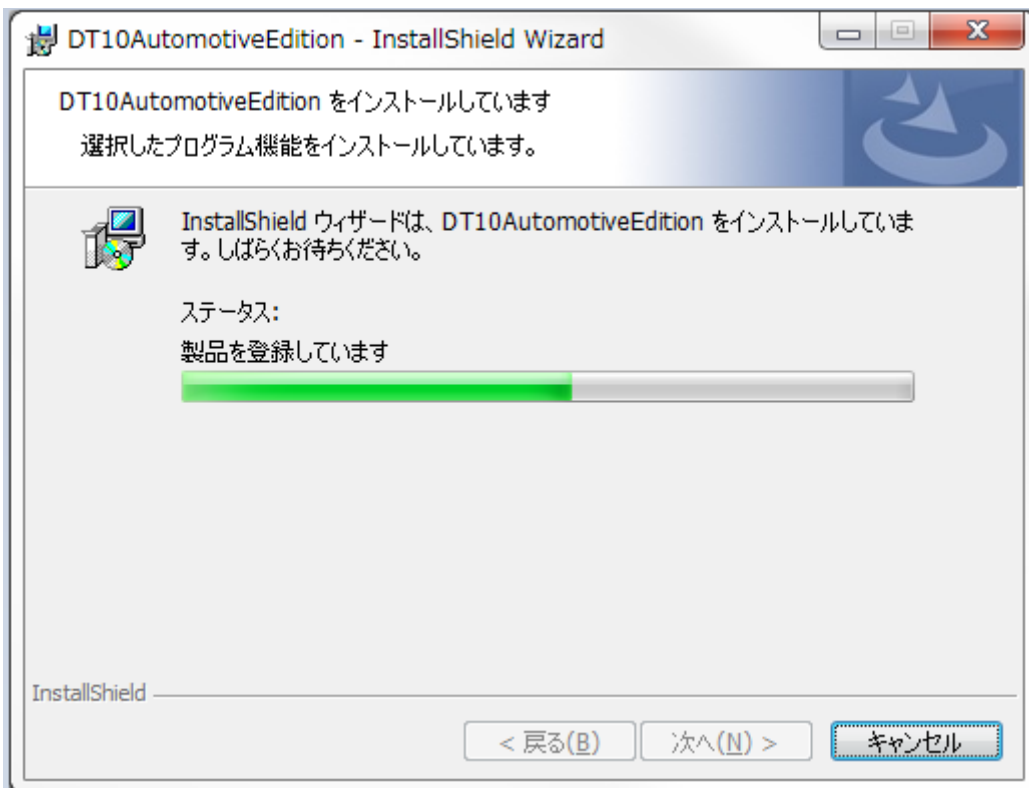


デフォルトのインストール先は、『[Program Files (x86) Path]HeartLandData\DT10AE』となります。[Program Files (x86) Path]はマシンに依存します(起動 OS のドライブ名等)。指定フォルダを変更する場合、「変更」ボタンをクリックしてフォルダを指定してください。インストール先が決まりましたら、「次へ」をクリックします。

「インストール準備完了」画面が表示されます。



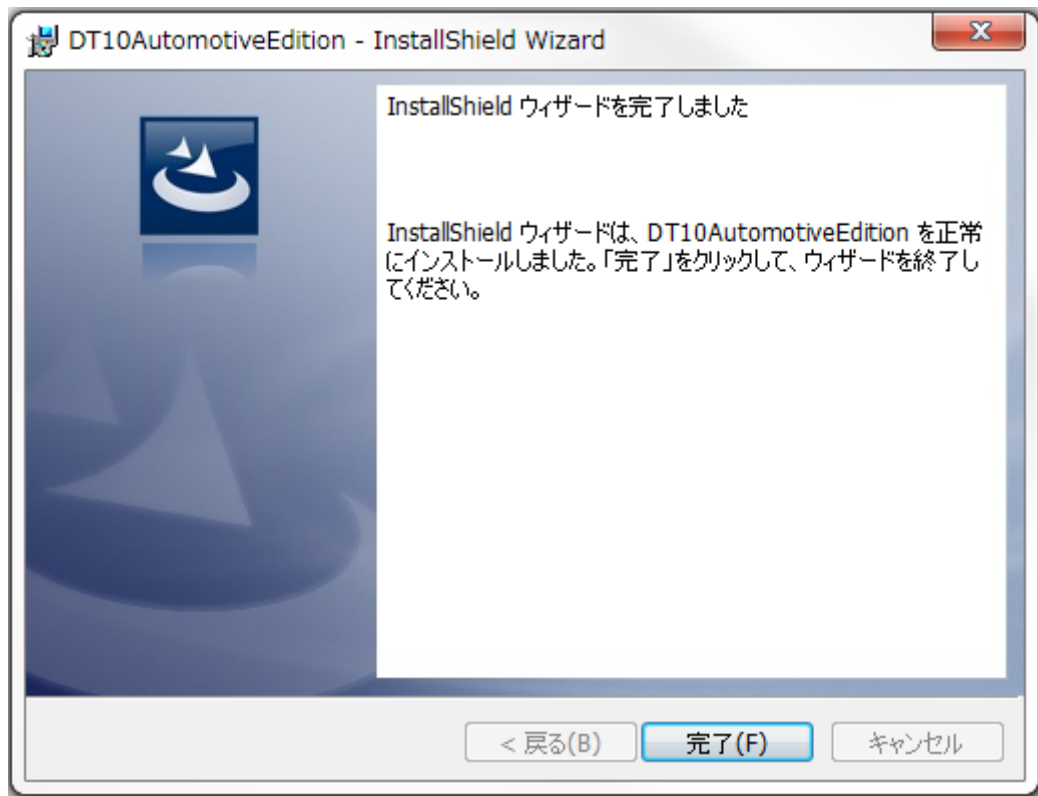
ここまでで設定した内容でインストールを開始してもよろしければ、「インストール」ボタンをクリックしてください。



インストール時間はマシンの状態などに大きく依存します。

数秒～数分かかります。

DT10AE が正常にインストールされると、以下の画面が表示されます。



「完了」ボタンをクリックして、セットアップを終了してください。

1.5. DynamicTracerのUSBドライバのセットアップ

DynamicTracer は、USB ケーブルで、マシンと接続します。

DynamicTracer の電源を入れると、Windows Update を経由して USB デバイスドライバが自動でインストールされます。



注意

Windows8/8.1/10 の場合、ネットがつながっていない状態、または Windows update から自動インストールを行わない設定になっている場合は、手動でインストールを行う必要があります。詳細は【[1.6_DT10 Automotive Edition のインストールに関するトラブルシューティング](#)】をご覧ください。

1.6.DT10 Automotive Editionのインストールに関するトラブルシューティング

◀ DynamicTracer の USB デバイスドライバのセットアップ時の注意点 ▶

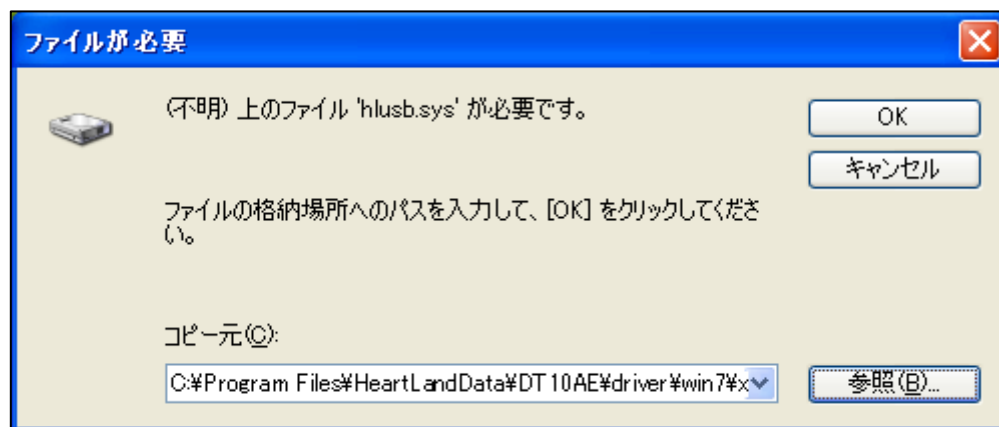
既に、DynamicTracer の USB デバイスドライバのセットアップが済んでいる状態で、再びドライバのセットアップが発生した場合、ドライバの検索時に以下のような画面が表示される場合があります。



表示される内容は、マシンの状態に依存します。

この画面が表示された場合、「~hlsusb.inf」(Windows8/8.1 の場合は「~cyusb.inf」)を選択してください。

ドライバのインストール実行中、以下のような画面が表示される場合があります。



「参照」ボタンから DT10AE インストールフォルダ内の driver フォルダで、各 OS のフォルダを指定してください。

◀ Microsoft Visual C++ 2008 Redistributable インストールに失敗する。 ▶

DT10AE アプリケーションのセットアップ前にエラーになってしまう、又は DT10AE アプリケーションを起動した際に、エラーが発生する場合、「Microsoft Visual C++ 2008 Redistributable」のインストールに失敗している可能性が有ります。

直接「Microsoft Visual C++ 2008 Redistributable」のインストーラーを起動して実行してください。

インストーラーは、「ISSetupPrerequisites¥vc redistrib_x86.exe」になります。

上記が動作しない場合、お手元にある vc redistrib_x86.exe に異常が有る可能性が有ります。

下記 URL より、「Microsoft Visual C++ 2008 SP1 再頒布可能パッケージ (x86)」をダウンロードして、実行を試みてください。

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=A5C84275-3B97-4AB7-A40D-3802B2AF5FC2&displaylang=ja>

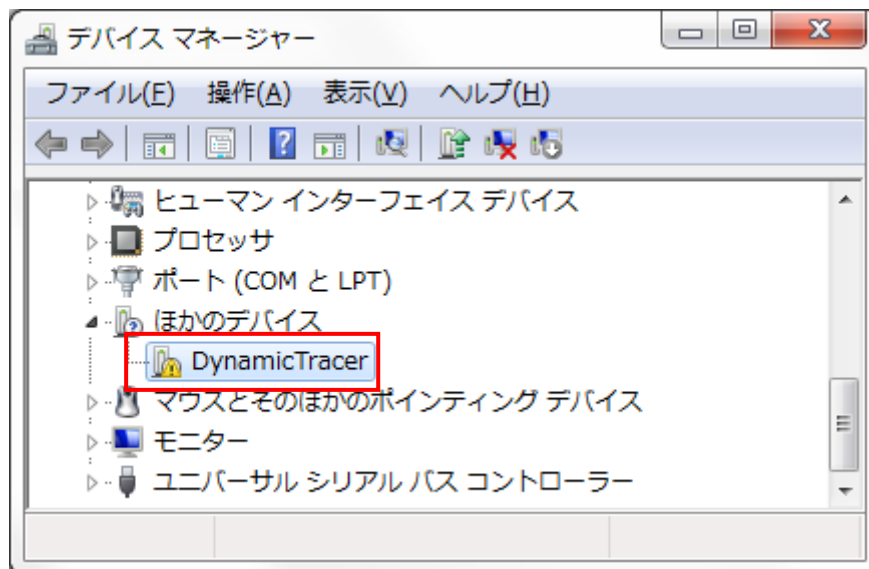
◀ USB デバイスドライバが自動でインストールされない。 ▶

Windows7 の場合、DynamicTracer を接続し電源を入れても、USB デバイスドライバは自動でインストールされません。

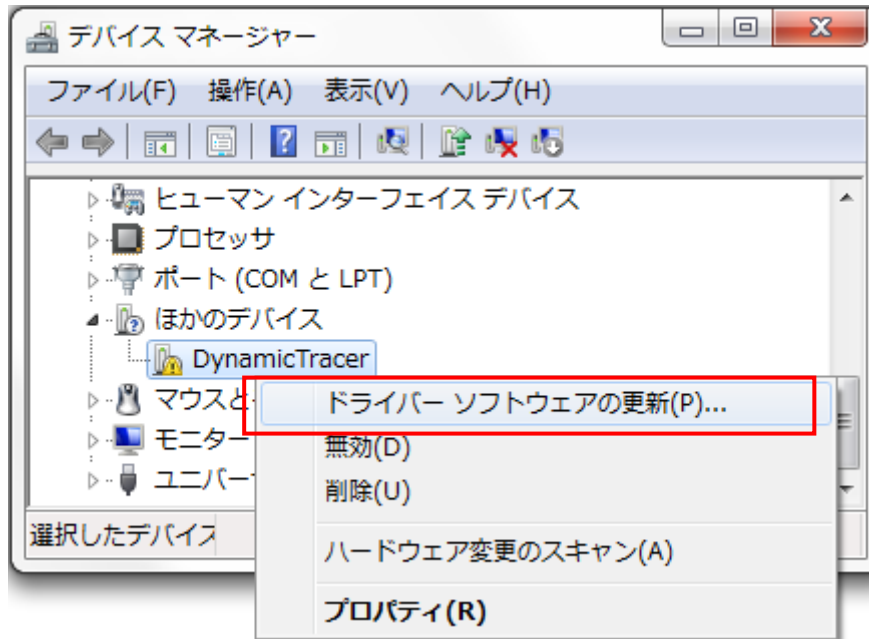
手動でインストールする必要があります。

手動インストール方法は以下の通りです。

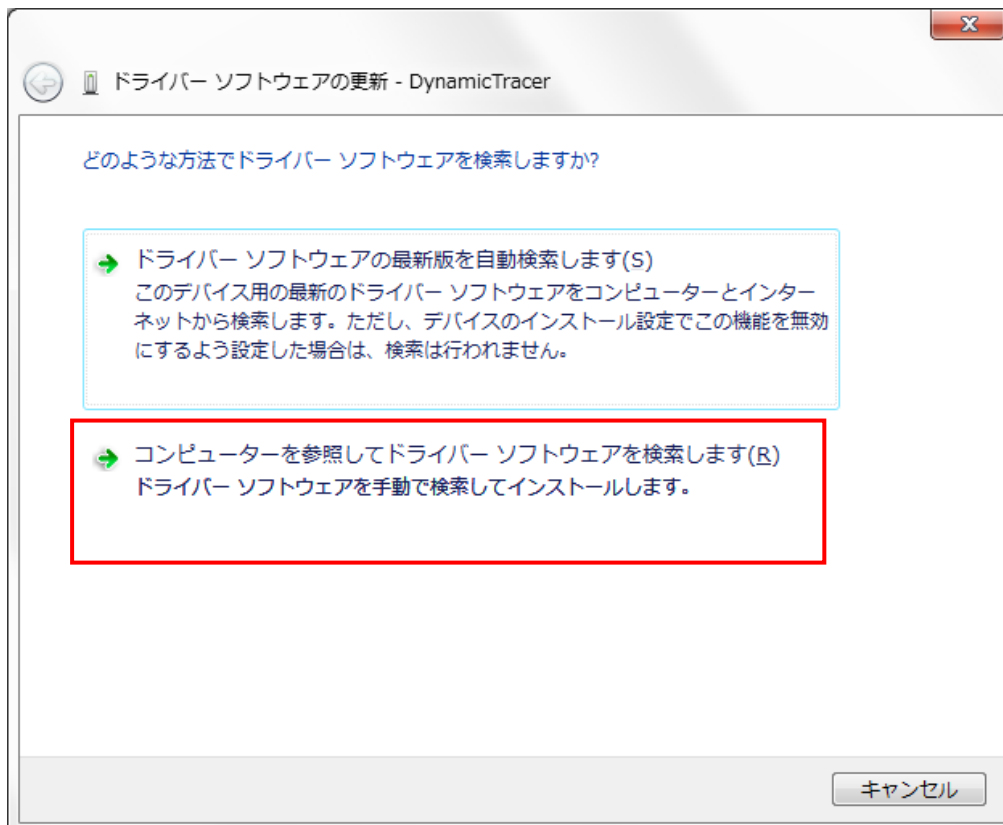
1. Windows のコントロールパネルから [デバイスマネージャー]を開きます。
2. デバイスマネージャーで、「DynamicTracer」のデバイスを見つけます。



3. 「DynamicTracer」のデバイスを右クリックし、表示されたメニューから「ドライバーソフトウェアの更新」をクリックします。



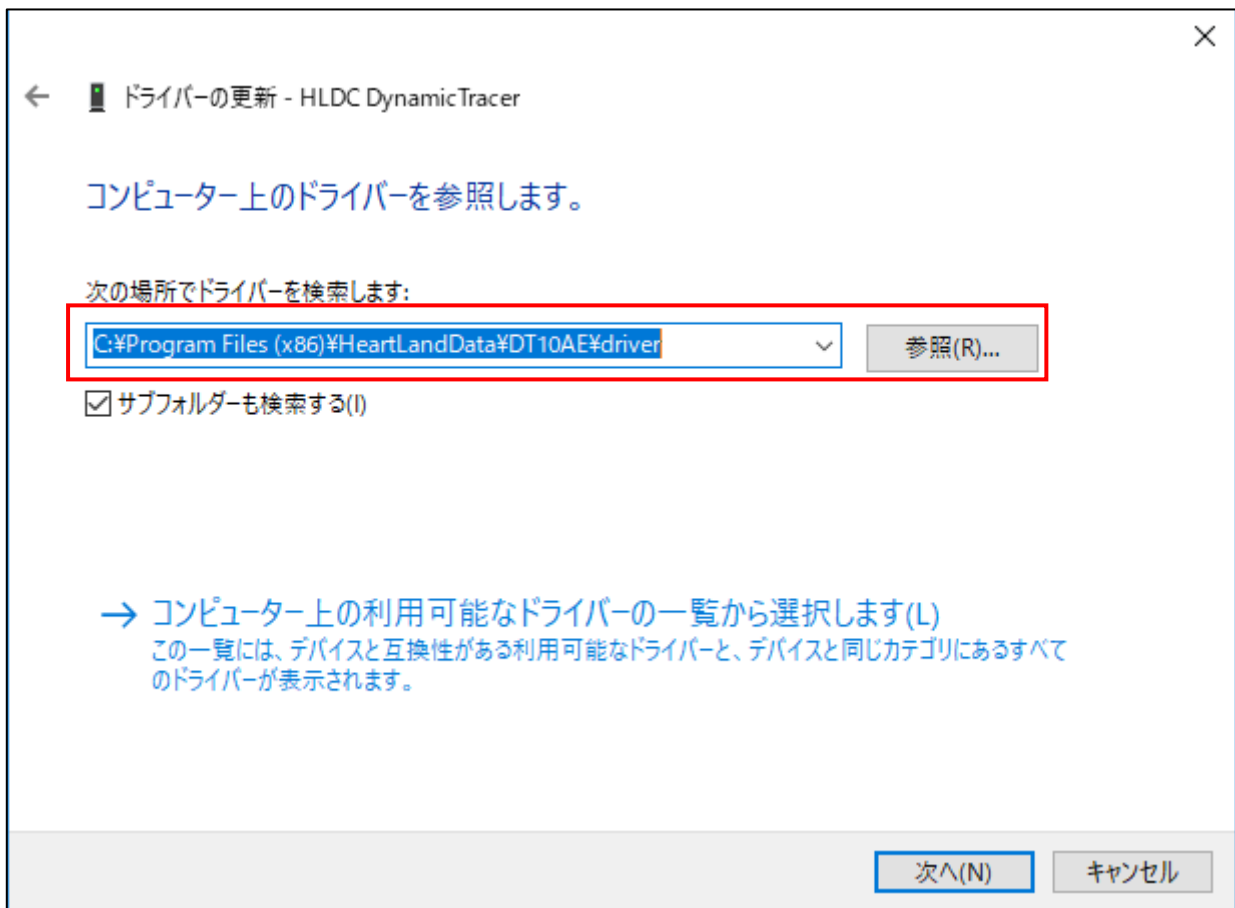
4. ドライバーソフトウェアの更新ダイアログで、「コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します」を選択します。



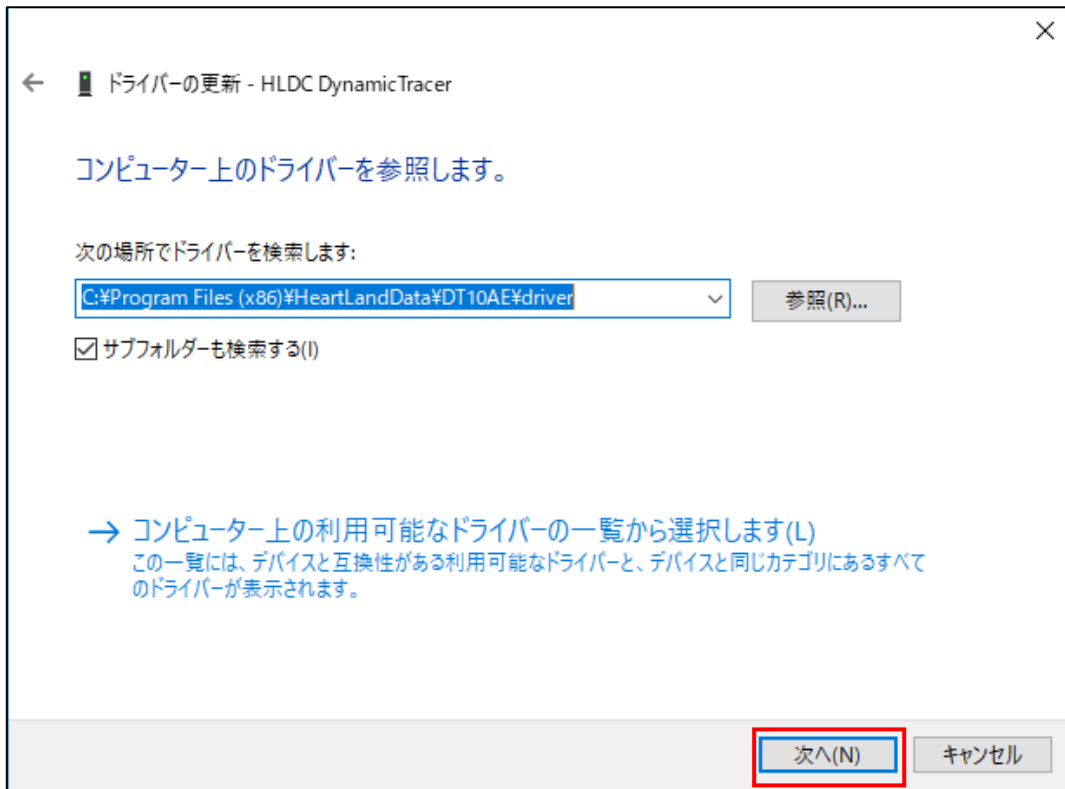
5. 「参照」ボタンから、検索先のフォルダとして、DT10AE インストールフォルダ内の「driver」フォルダを指定します。

指定場所は以下になります。

Windows7 (32bit)	: C:\Program Files\HeartLandData\DT10AE\driver\win7\x86
Windows7 (64bit)	: C:\Program Files (x86)\HeartLandData\DT10AE\driver\win7\x64
Windows8(32bit)	: C:\Program Files\HeartLandData\DT10AE\driver\win8\x86
Windows8(64bit)	: C:\Program Files (x86)\HeartLandData\DT10AE\driver\win8\x64
Windows8.1(32bit)	: C:\Program Files\HeartLandData\DT10AE\driver\win8.1\x86
Windows8.1(64bit)	: C:\Program Files (x86)\HeartLandData\DT10AE\driver\win8.1\x64
Windows10(32bit)	: C:\Program Files\HeartLandData\DT10AE\driver\win10\x86
Windows10(64bit)	: C:\Program Files (x86)\HeartLandData\DT10AE\driver\win10\x64

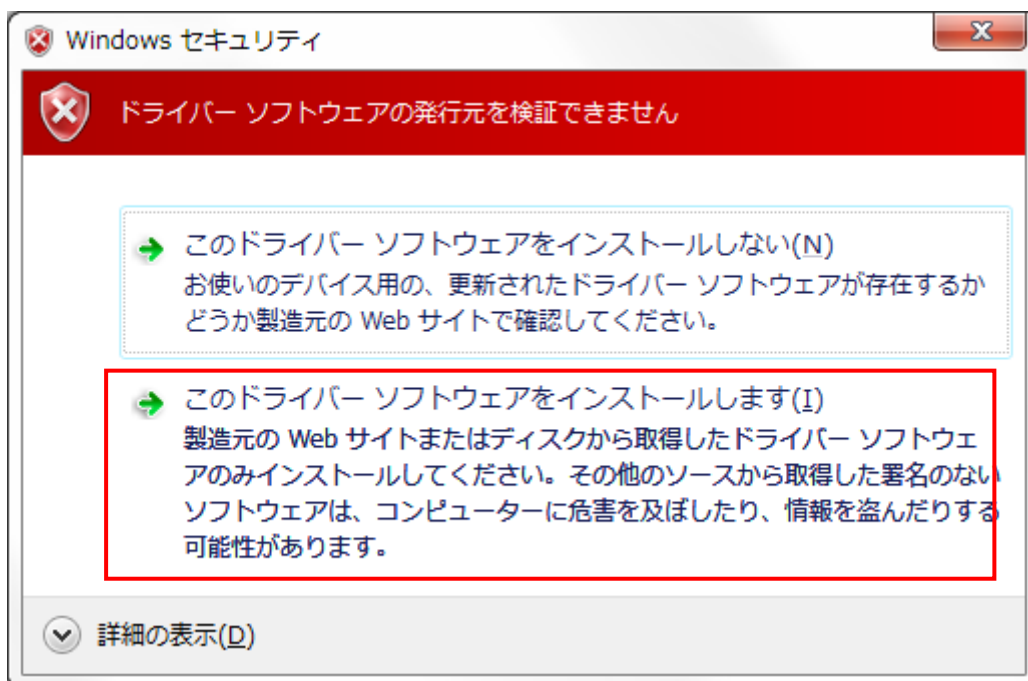


6. 「次へ」をクリックします。

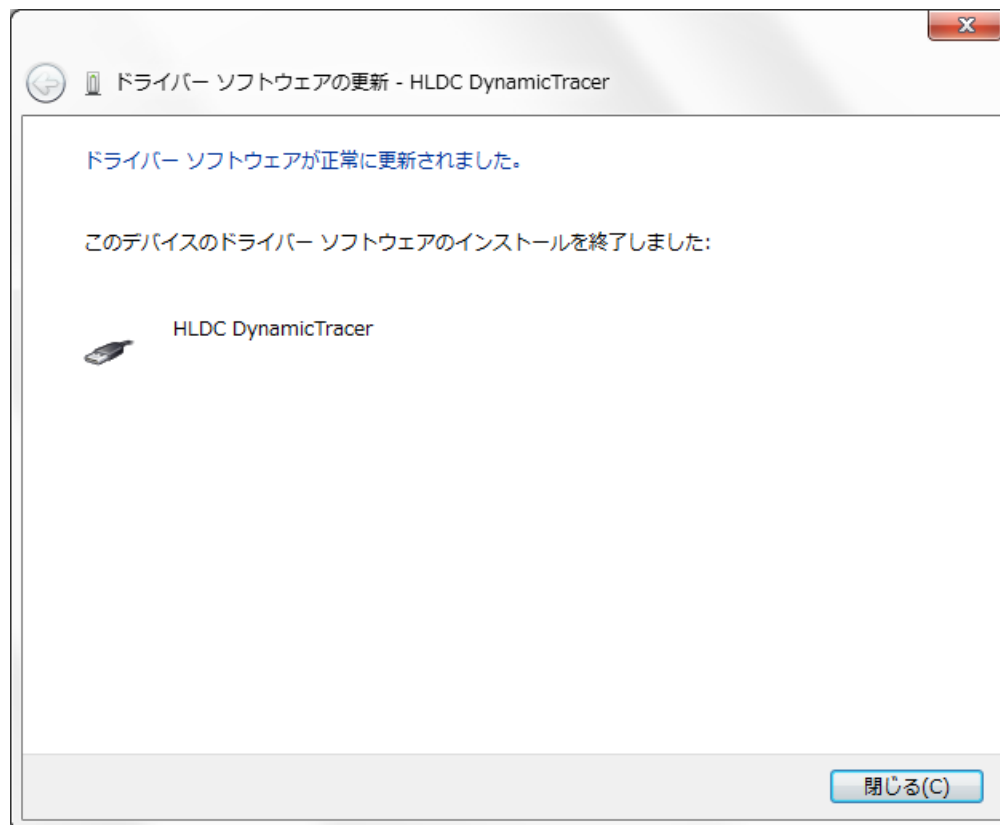


7. USB ドライバのインストールが開始されます。

8. 以下警告が表示されたら、「このドライバーソフトウェアをインストールします」を選択します。



9. ドライバのインストールが終了すると、以下の画面が表示されます。



10. 「閉じる」をクリックして、終了します。

◀ それでも動かない時 ▶

インストールするマシンを変えて動作できないかをご確認ください。

それでも動作しない場合、弊社サポートまでご連絡ください。

ハートランド・データ株式会社

ユーザーサポート担当

E-mail : user@hldc.co.jp

1.7. DT10 Automotive Editionのアンインストール

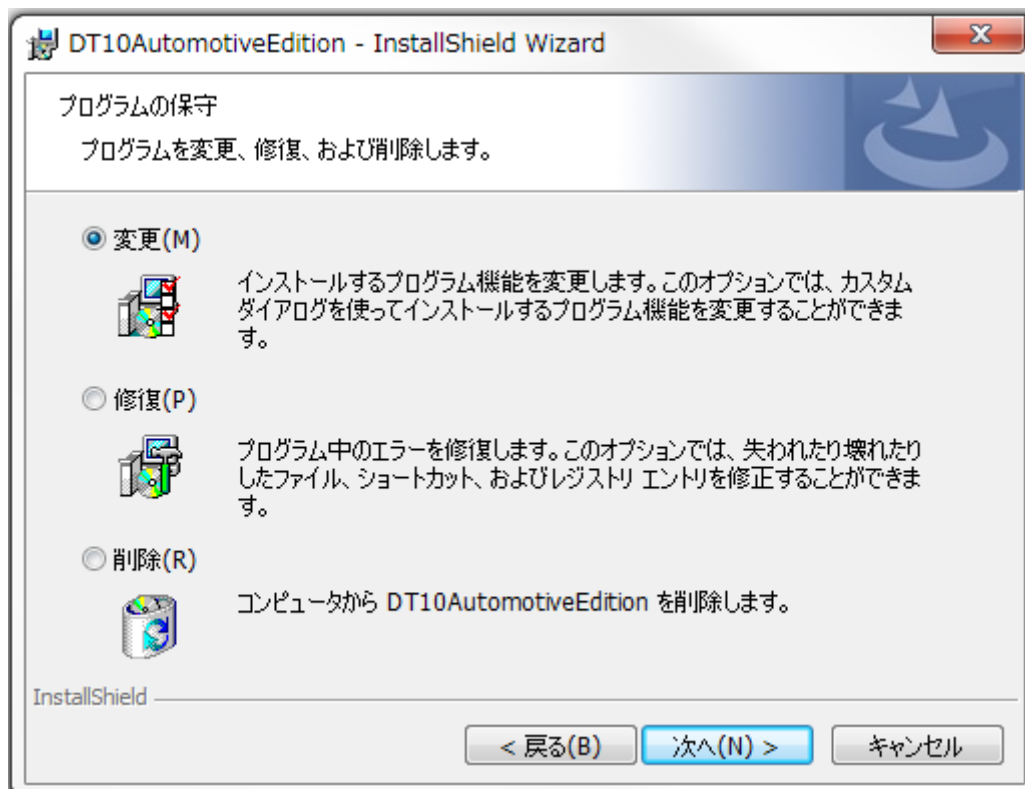
1.7.1. 「プログラムの追加と削除」からのアンインストール

「コントロール」→「プログラムの追加と削除」より、「DT10 Automotive Edition」を選択し「削除」してください。



1.7.2. 「setup.exe」からアンインストール

セットアップ時に使用した「setup.exe」を再度実行すると、インストール済みの DT10AE をアンインストールする事が可能です。



「プログラムの保守」画面が表示されたら、「削除」を選択して、処理を続行してください。

2. ノードロックライセンスのセットアップ

2.1. ノードロックライセンスのセットアップ

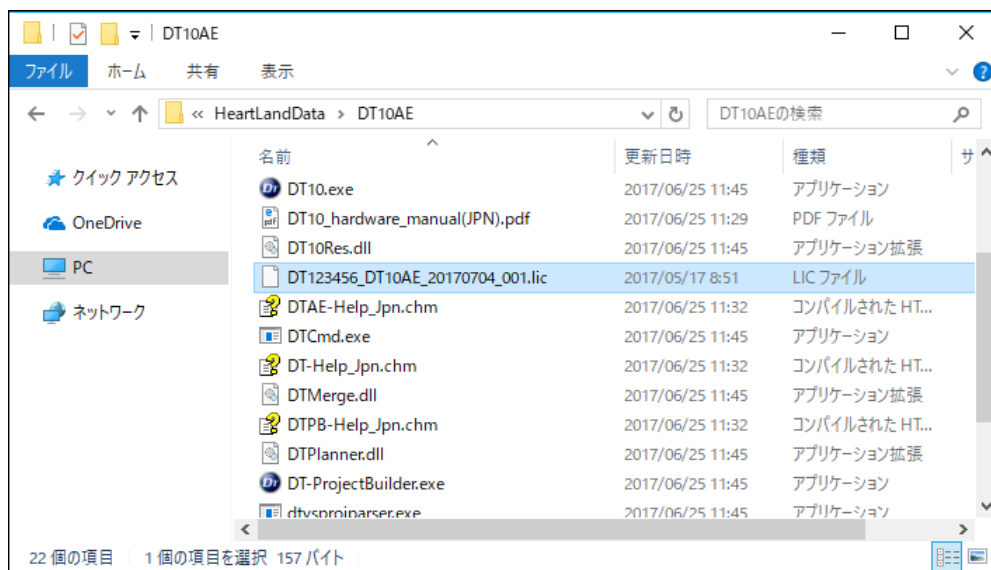
導入には、特定のマシンのノードロックライセンスファイルが必要となります。

ノードロックライセンスは、DT10AE のノードロックライセンス(*.lic)とソースコード構造解析エンジン用ノードロックライセンス(locallicense.dat)の2種類あります。

1. DT10AE ノードロックライセンスファイル(*.lic) を、DT10.exe がインストールされたフォルダに置きます。

DT10.exe のインストール場所は、デフォルト設定では『[Program Files Path]HeartLandData¥DT10AE』です。

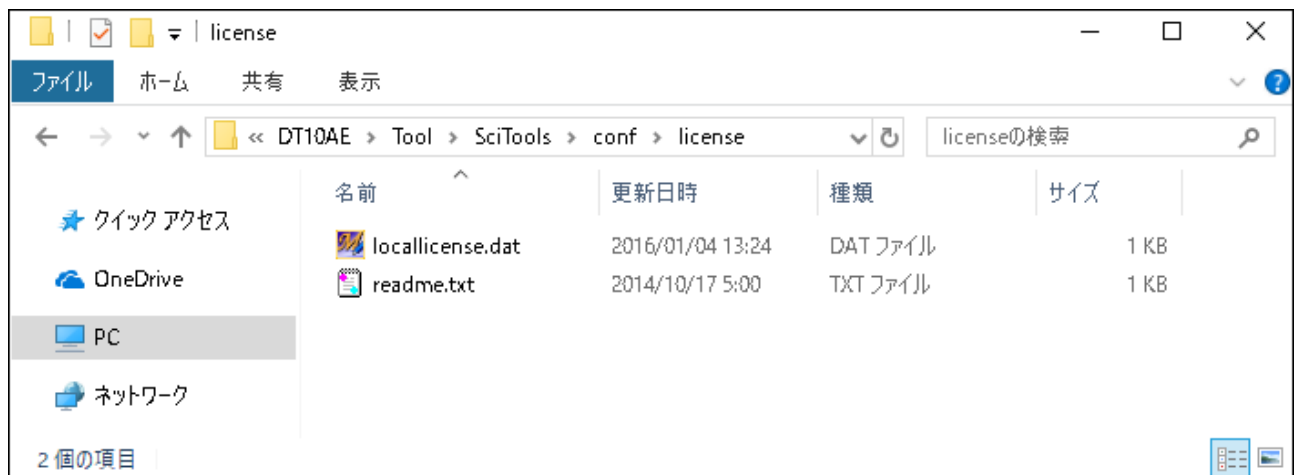
[Program Files Path]はマシンに依存します(起動 OS のドライブ名等)。




2. ソースコード構造解析エンジン用ノードロックライセンスファイル(locallicense.dat) を、以下のフォルダに置きます。

『[Program Files Path]HeartLandData¥DT10AE¥Tool¥SciTools¥conf¥license』

[Program Files Path]はマシンに依存します(起動 OS のドライブ名等)。



3. ライセンスファイルを所定の場所に保存したら、DT10AE アプリケーションを起動します。
「Automotive Edition」として起動すれば、ライセンス認証完了です。

 注意	<p>ライセンス発行の際に、弊社に申請していただいたマシン 1 台のみ使用可能です。 マシンの入れ替え、故障によるライセンスファイルの再発行は、弊社営業担当までお問い合わせください。</p>
	<p>Windows のリモートデスクトップ接続などターミナルサービスの接続を経由して使用することはできません。</p>
	<p>期限切れのライセンスファイルは、フォルダから削除してください。</p>
	<p>「Automotive Edition」で起動しない場合、ノードロックライセンスが正常に動作していない可能性があります。 【2.3 ノードロックライセンスに関するトラブルシューティング】をご参考ください。</p>

2.2. ノードロックライセンスの更新

既存の DT10AE ノードロックライセンスファイル(*.lic)を保存されているフォルダに、

新しい DT10AE ノードロックライセンスファイル(*.lic)を保存します。

期限切れの既存のライセンスファイルは、必ず削除してください。

同一フォルダに保存されたままである場合、ライセンスが有効になりません。

※ソースコード構造解析エンジン用ノードロックライセンスファイル(locallicense.dat)の更新は必要ございません。

2.3. ノードロックライセンスに関するトラブルシューティング

≪ DT10AE アプリが「Free Edition」で起動してしまう。≫

ライセンスが無効の場合、「Free Edition」として DT10AE アプリが起動します。

以下の場合、ライセンスが無効となります。

・**ライセンスファイルの保存場所に間違いがある。**

→DT10AE アプリをインストールしたフォルダに保存したことを、再度ご確認ください。

・**期限切れのライセンスファイルが、DT10AE アプリのインストールフォルダに残っている。**

→古いライセンスファイルは削除してください。

・**弊社に申請していただいた MAC アドレスに間違いがある。**

→ご使用のマシンの MAC アドレス、及び 申請した MAC アドレスが同じであることを再度ご確認ください。

MAC アドレスの確認方法については、[【2.4.マシンの固有情報の確認方法】](#)をご確認ください。

2.4. マシンの固有情報の確認方法

[Windows マシン]

1. [コマンドプロンプト]ウィンドウで、"ipconfig/all"コマンドを実行します。
2. 表示される実行結果で、物理アドレスが MAC アドレス、IPv4 アドレスが IP アドレスになります。

```
実行例: > ipconfig/all
:
ホスト名 . . . . . : "サーバー(ホスト名)"
:
物理アドレス . . . . . : 00-12-34-AB-CD-E5 (MACアドレス)
:
IPv4アドレス . . . . . : 192.168.###.### (IPアドレス)
```

[Linux マシン]

1. ターミナルから"hostname"コマンドを実行して、ホスト名を確認します。
2. 同じくターミナルから"/sbin/ifconfig eth0"コマンドを実行して、表示される実行結果を確認します。
表示される実行結果で、物理アドレスが MAC アドレス、IPv4 アドレスが IP アドレスになります。
"Hwaddr" が MAC アドレス、"inet addr"が IP アドレスになります。

```
実行例: $ hostname
"サーバー(ホスト名)"

$ /sbin/ifconfig eth0
eth0 Link encap:Ethernet HWaddr 00:12:34:AB:CD:E5(MACアドレス)
inet addr:192.168.###.### (IPアドレス)
```


3. フローティングライセンスのセットアップ

3.1. Windowsサーバーのセットアップ

フローティングライセンスシステムを利用する場合、ライセンスサーバーマシンが必要となります。

本章では、ライセンスサーバーに Windows マシンを使用する場合における DTTestPointBuilderLicenseManager (ディーティーテストポイントビルダーライセンスマネージャー) サービスをインストールする為の準備、及びインストール方法について説明します。

3.1.1. Windowsサーバーのサポートプラットフォーム

OS :

- ・ Windows7
- ・ Windows8
- ・ Windows8.1
- ・ Windows10

※32bit 版・64bit 版にそれぞれ対応しています。


サーバーOS :

- ・ Windows Server 2008
- ・ Windows Server 2012
- ・ Windows Server 2016

※32bit 版・64bit 版にそれぞれ対応しています。

コンピュータ本体 :

- ・ Pentium 100MHz 相当以上のプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータを推奨
- ・ 空きメモリ 5MByte 以上を推奨
- ・ 空きディスク 10MByte 以上


 注意	<p>インストールには、管理者権限が必須になります。 管理者権限を持ったユーザーで、インストールを実行してください。</p>
	<p>クラウドサーバーにおいて以下の環境はご利用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インスタンスの再起動などにより、MAC アドレスが変動する環境ではご利用できません。 ・コンテナ環境でのご利用はできません。
	<p>Windows のリモートデスクトップ接続などターミナルサービスの接続を経由して使用するには、 リモートデスクトップに対応した有償のライセンスが必要です。 ライセンス変更・購入についてのお問い合わせは担当営業までご連絡ください。</p>

3.1.2. セットアップ前の確認事項

DTTestPointBuilderLicenseManager をインストールする PC について以下の三点をご確認ください。

- DT10AE アプリ用の 27000 番～27009 番のポートの 2 個を解放可能なこと。
ライセンスサーバー用に 27000 番～27009 番のポートの内 2 個のポートを使用します。
- ソースコード構造解析エンジン用の 9001 番のポートを解放可能なこと。
ネットワーク上にファイアウォール等が導入されている場合、クライアントからライセンスサーバーへの接続が遮断されますので、UDP ポート番号の 9001 の通信を許可する設定を行ってください。
- 再起動が可能な PC であること。
インストール終了後、PC を再起動させる必要があります。
- 以前に DT シリーズの DTLicenseManager をご使用されている場合は、
以下の手順でアンインストールしてください。
 1. 「コントロールパネル」→「プログラムと機能」より、DTLicenseManager をアンインストールします。

3.1.3. ライセンスマネージャのインストール

 注意	<p>既に DT10 の LicenceManager をインストールしている場合は、 必ずアンインストールしてから、DT10AE の LicenceManager をインストールしてください。</p>
	<p>ライセンスデータファイル(.lic)はサーバーPC、クライアント PC の両方で使用しますので、コピーしてください。</p>

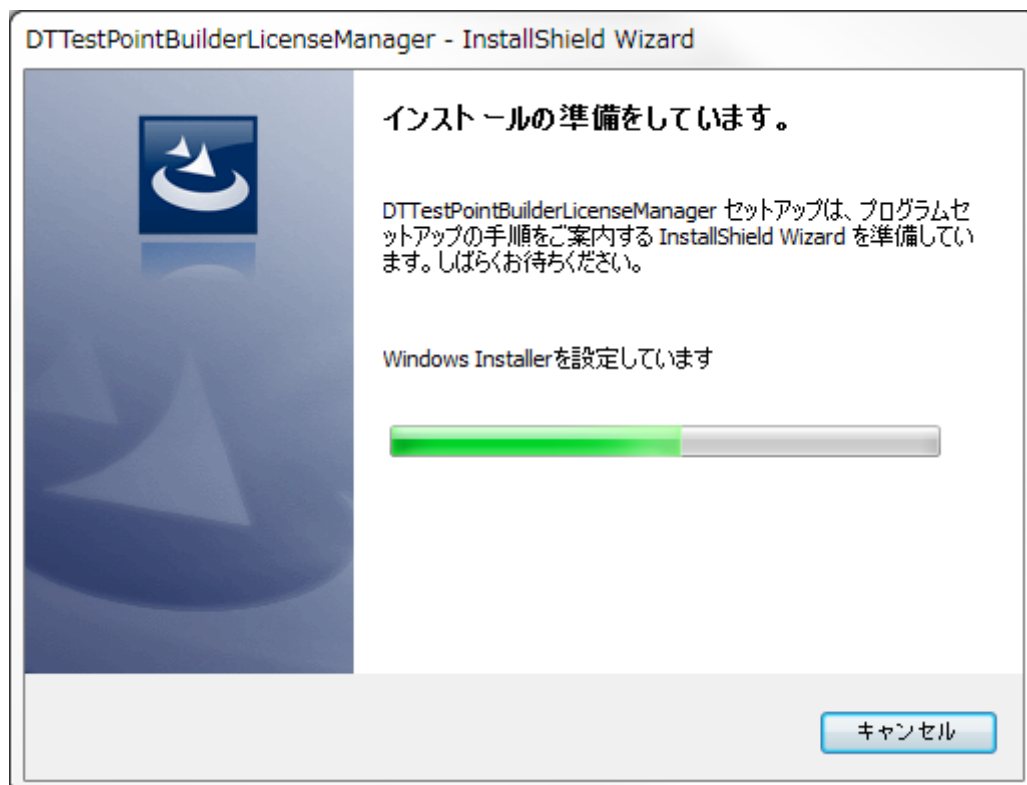
「setup.exe」を実行します。

DTTestPointBuilderLicenseManager セットアップを開始すると、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

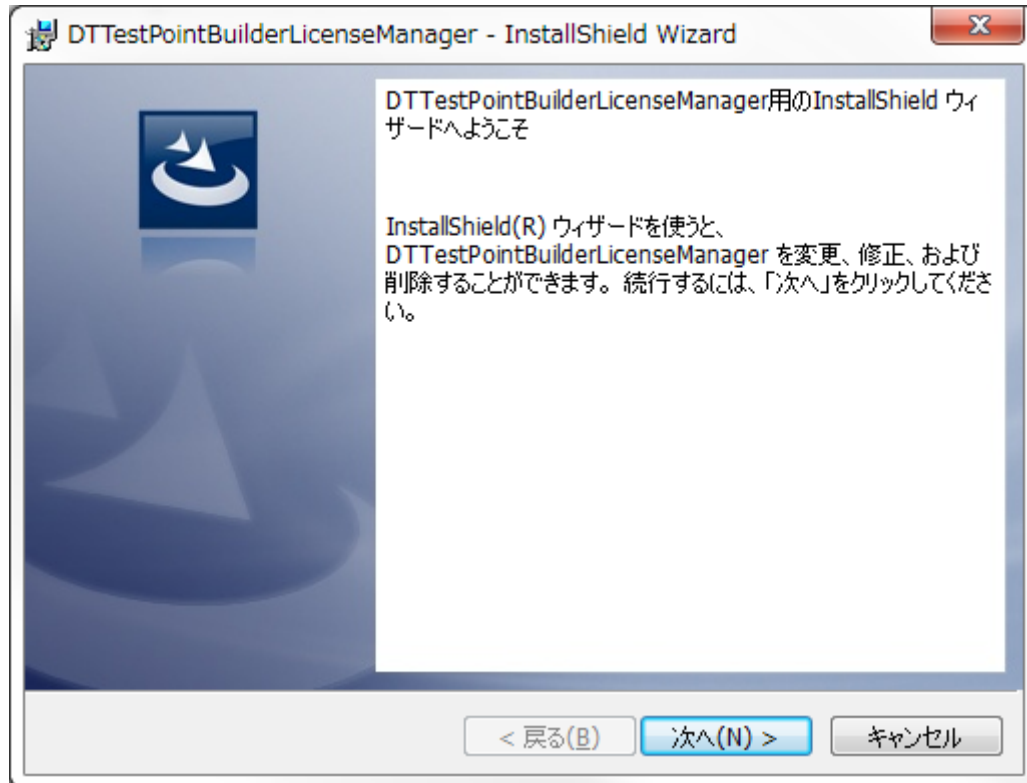


発行元を確認して「はい」を選択します。

自動的に、セットアップファイルの展開が行われます。

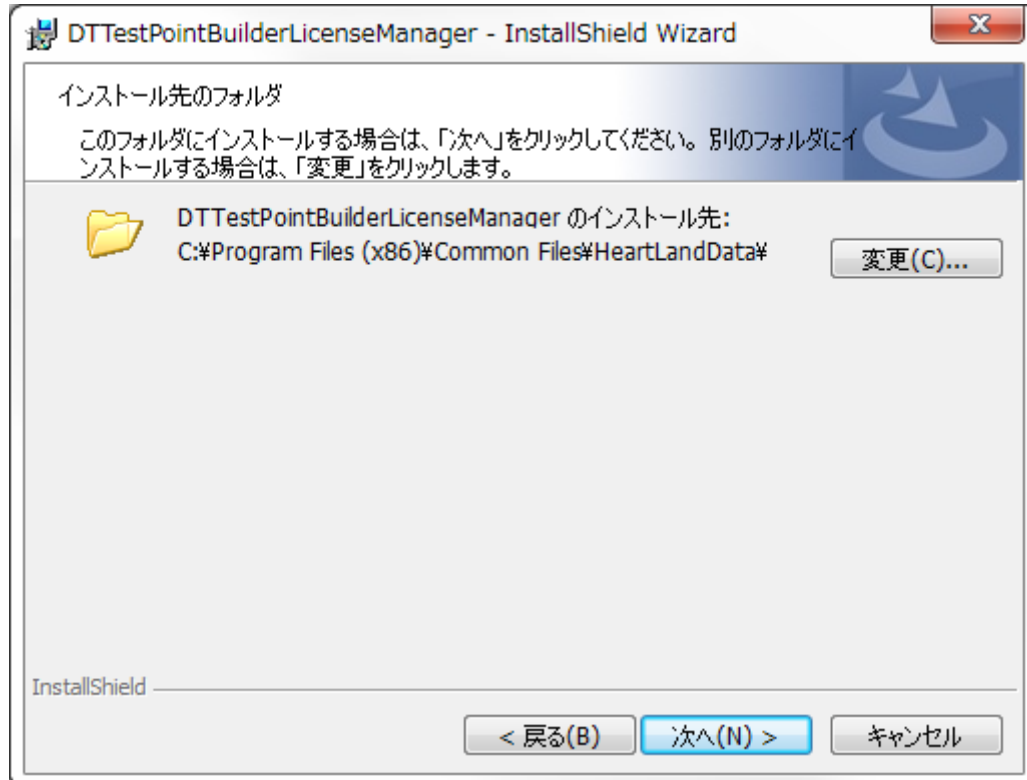


展開が完了し、インストール準備が整うと、「ようこそ」画面が表示されます。



「次へ」をクリックします。

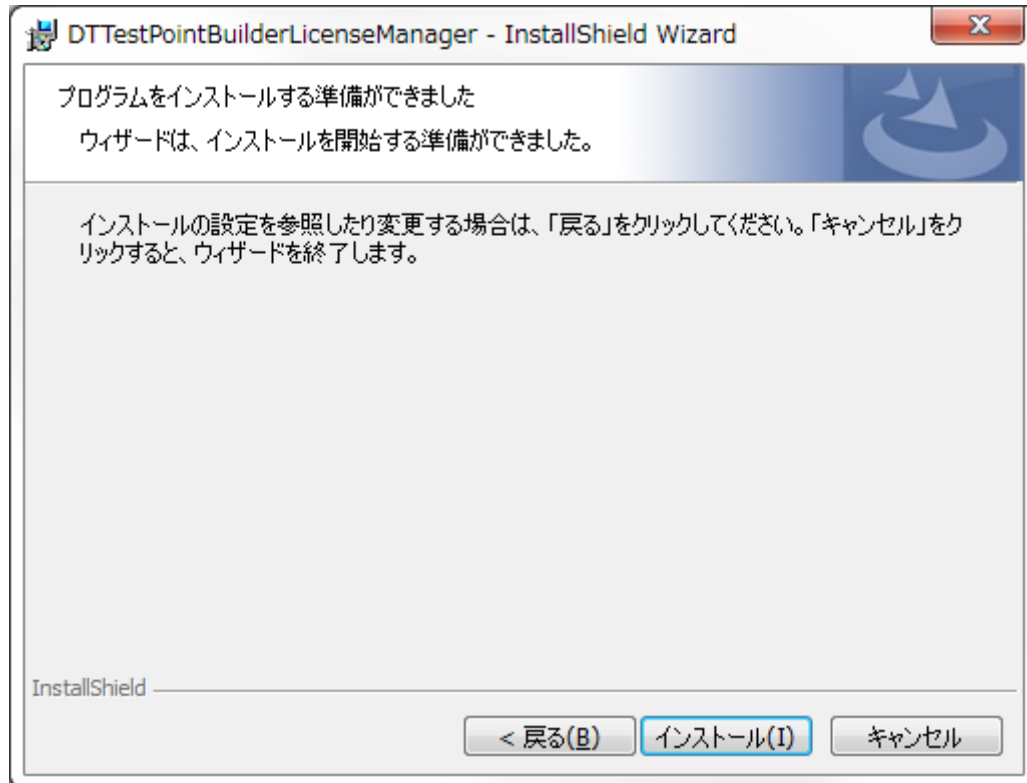
「インストール先のフォルダ」画面が表示されます。



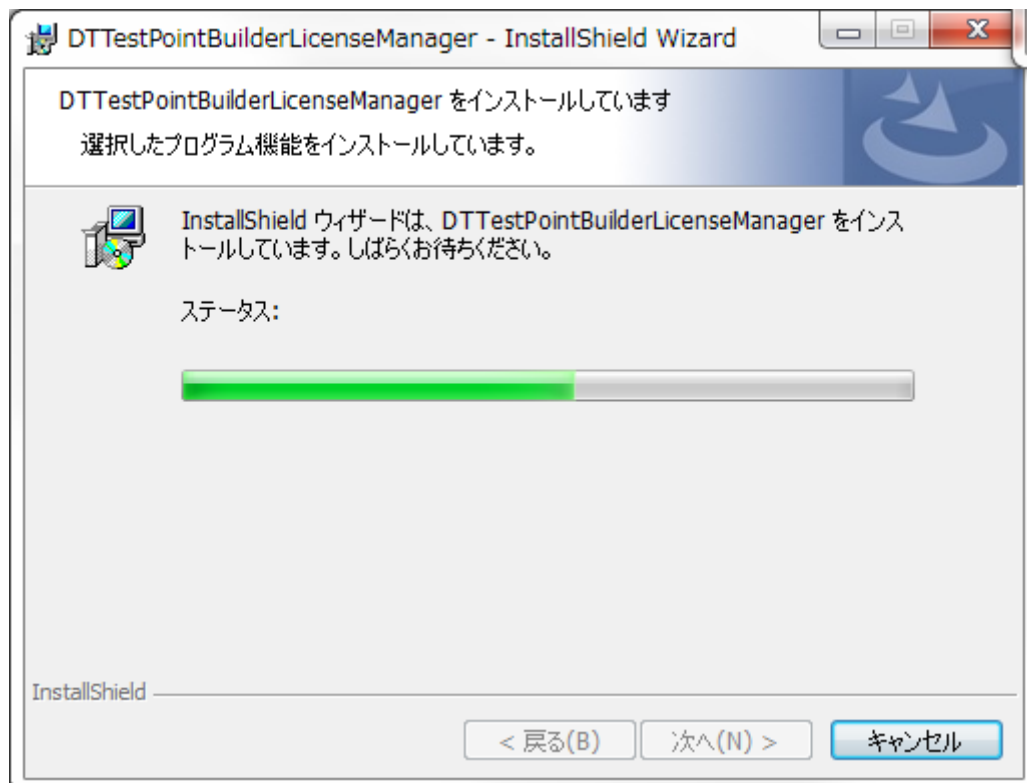
デフォルトのインストール先は、『[Common Files Path]\HeartLandData』です。[Common Files Path]はマシンに依存します(起動 OS のドライブ名等)。指定フォルダを変更する場合、「変更」ボタンをクリックしてフォルダを指定してください。

インストール先を設定したら、「次へ」をクリックします。

「インストール準備完了」画面が表示されます。



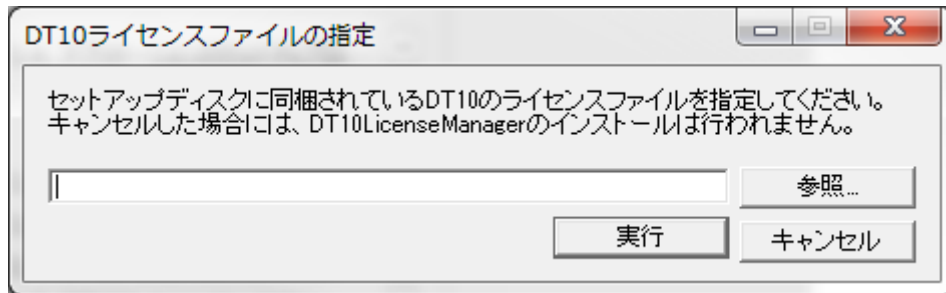
ここまでで設定した内容でインストールを開始してもよろしければ、「インストール」ボタンをクリックしてください。



インストール時間はマシンの状態などに大きく依存します。数秒～数分かかります。

新しいファイルのコピーステータスが終了後、自動的に「DT10 ライセンスファイルの指定」ダイアログが開きます。

このダイアログは、開いている間「常に前面」表示となります。

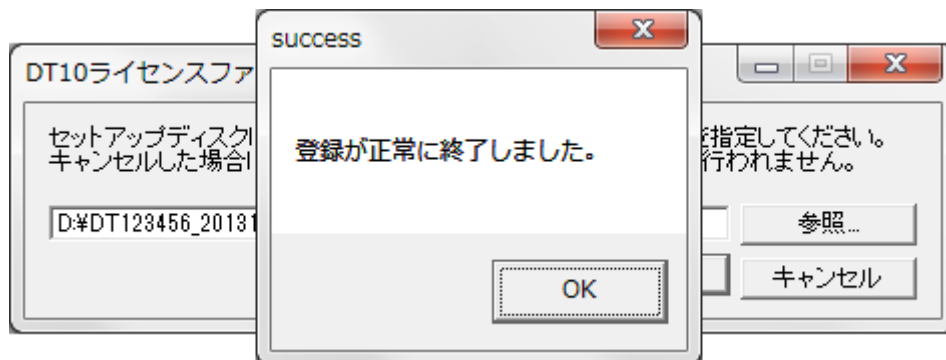


「参照...」ボタンをクリックすると、「ライセンスファイルの選択」ダイアログが開きます。

DT10 のライセンスデータファイル(*.lic)を選択してください。

また、エディットボックスに直接入力も可能です。

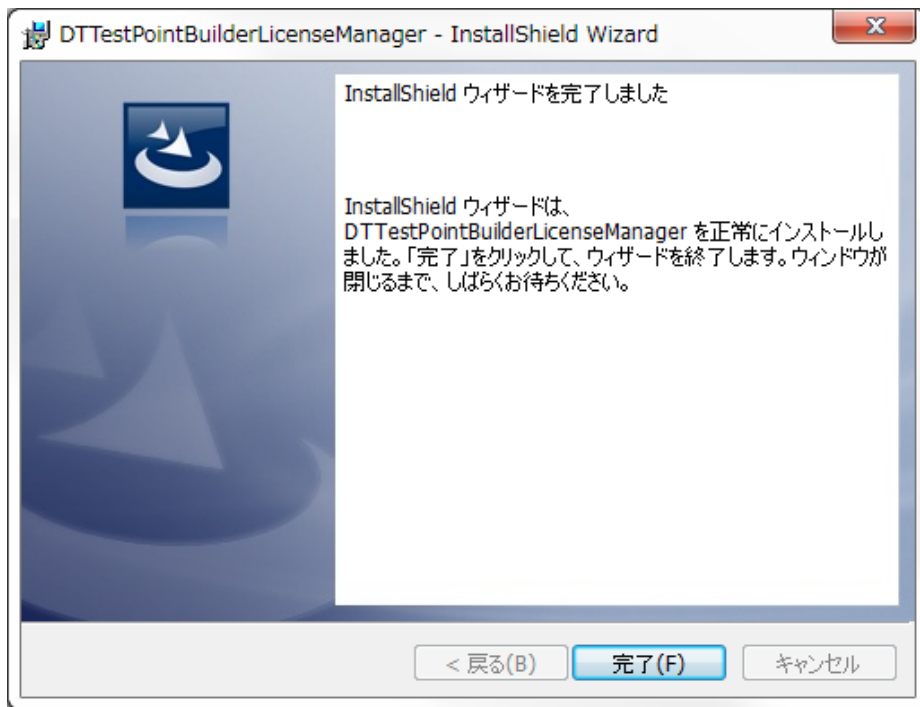
エディットボックス内に DT10 のライセンスファイルパスが入力されたことを確認した後、「実行ボタン」を押してください。



「success」メッセージが表示されれば、DTTestPointBuilderLicenseManager のインストール、サービス登録は正しく完了しています。

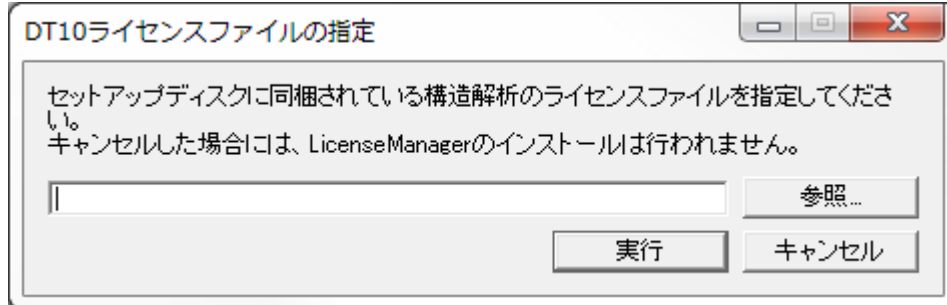
「success」メッセージの「OK」ボタンをクリックします。

DTTestPointBuilderLicenseManager が正常にインストールされると、以下の画面が表示されます。



「完了」ボタンをクリック後、数十秒間お待ちください。

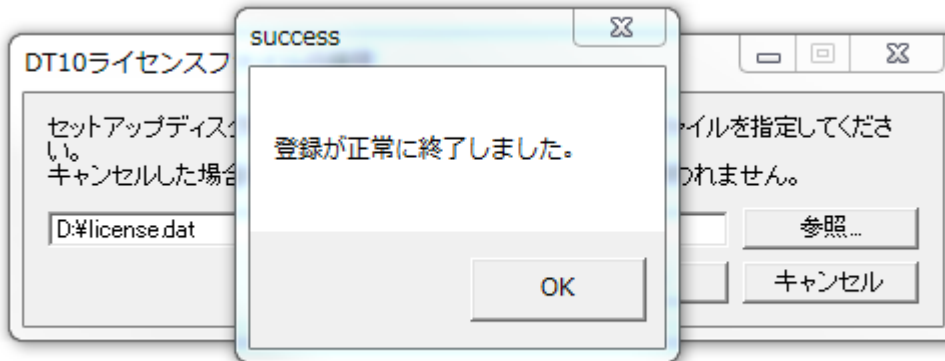
ソースコード構造解析エンジン用ライセンスデータを選択するダイアログが表示されます。



ここではソースコード構造解析エンジン機能を利用するためのライセンスデータファイル(license.dat)を指定します。

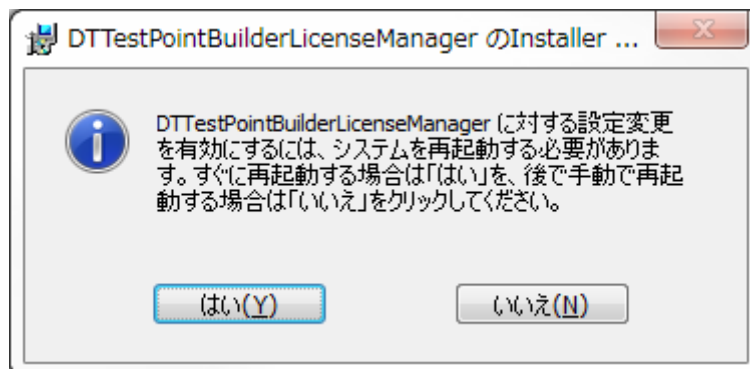
実行後、コンソール画面が一度表示されてから消えるまでお待ちください。

「success」メッセージが表示されれば、DTTestPointBuilderLicenseManager のインストール、サービス登録は正しく完了しています。
「success」メッセージの「OK」ボタンをクリックします。




再起動を促すメッセージが表示されます。「はい」ボタンを押して、再起動を行ってください。

ここで「いいえ」を選択して自動での再起動を行わなかった場合も、インストールは正しく終了できます。ただし、DTTestPointBuilderLicenseManager サービスが自動的に起動するのは、次回マシンが起動した時以降となります。



インストール作業は以上で終了です。

3.1.4. クライアントマシンのセットアップ

 注意	<p>ライセンスデータファイル(.lic)はサーバーPC、クライアント PC の両方で使用しますので、コピーしてください。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------

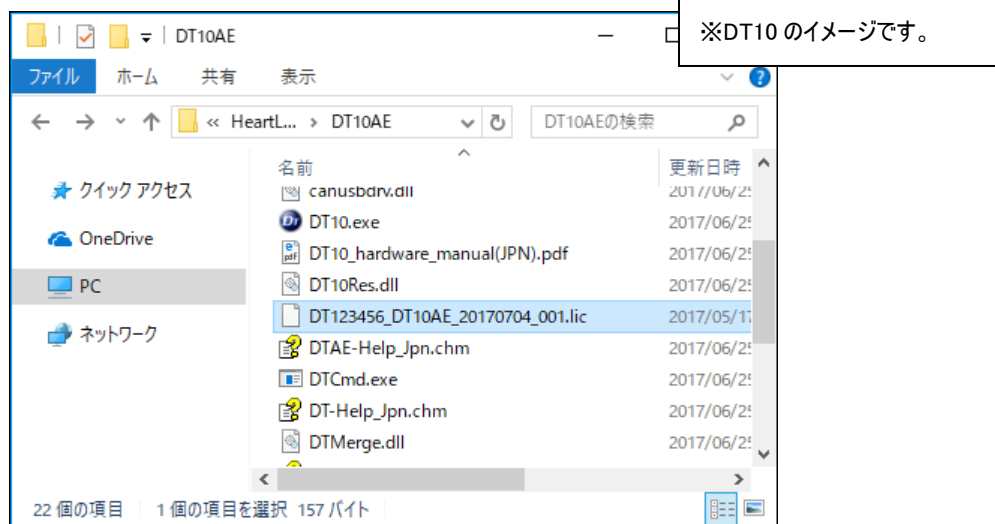
クライアントマシンに DT10AE アプリケーションをインストールします。

インストール方法の詳細は、[【1. DT10 Automotive Edition のインストール】](#)をご覧ください。

1. アプリのインストール後、インストールフォルダにライセンスデータファイル(*.lic)をコピーします。

ライセンスファイルのコピー先 : [Program Files Path]HeartLandData¥DT10AE

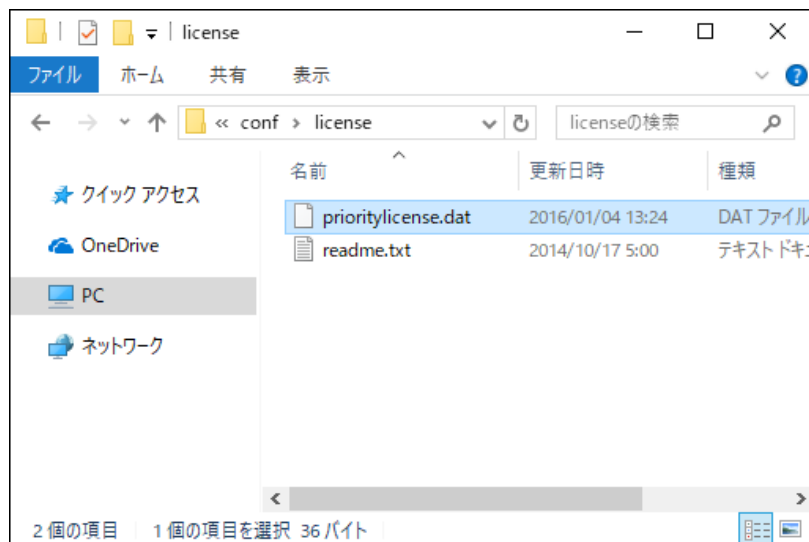
※[Program Files Path]はマシンに依存します(起動 OS のドライブ名等)。



2. ソースコード構造解析エンジン用ライセンスファイル(prioritylicense.dat)を、以下のフォルダにコピーします。

ライセンスファイルのコピー先 : [Program Files Path]HeartLandData¥DT10AE¥Tool¥SciTools¥conf¥license

※[Program Files Path]はマシンに依存します(起動 OS のドライブ名等)。



3.1.5. ライセンシングの確認

クライアントマシンで DT10AE アプリケーションを起動します。

正常にライセンスが動作している場合、スプラッシュ画面の右上に「Automotive Edition」と表示されます。

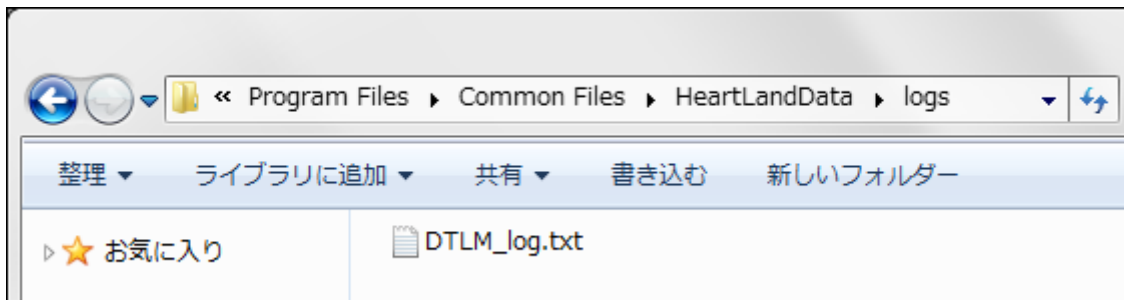
ライセンスが無効、認識できない状態では、「Free Edition」として起動します。



サーバーマシン内に作成されるログファイルからも動作の確認を行えます。

ライセンスマネージャのインストールフォルダの「logs」フォルダを開きます。

(デフォルトは起動ディスクの”¥Program Files¥Common Files¥HeartLandData¥logs”です。)



クライアントマシンからチェックイン、チェックアウトが正常に行われた場合、ログファイルの内容は、[【図 3.1.5 ログファイルの確認】](#)のようになります。

もし Automotive Edition で起動できない場合は、[【3.5 フローティングライセンスに関するトラブルシューティング】](#)を確認ください。

【図 3.1.5 ログファイルの確認】

```
15:52:02 (lmgrd) -----
15:52:02 (lmgrd) Please Note:
:
:
15:52:02 (lmgrd) -----
15:52:02 (lmgrd)
15:52:02 (lmgrd)
15:52:02 (lmgrd) pid 1924
15:52:02 (lmgrd) Done rereading
15:52:02 (lmgrd) FLEXnet Licensing (v11.10.0.0 build 95001 i86_n3) started on FTPSRV(IBM PC) (11/8/2013)
15:52:02 (lmgrd) Copyright (c) 1988-2011 Flexera Software, Inc. All Rights Reserved.
15:52:02 (lmgrd) US Patents 5,390,297 and 5,671,412.
15:52:02 (lmgrd) World Wide Web: http://www.flexerasoftware.com
15:52:02 (lmgrd) License file(s): C:\Program Files\Common Files\HeartLandData\lic\DT123456_20131130 STD_1.lic
15:52:02 (lmgrd) lmgrd tcp-port 27000
15:52:02 (lmgrd) Starting vendor daemons ...
15:52:02 (lmgrd) Started hldcd (pid 1960)
15:52:02 (hldcd) FLEXnet Licensing version v11.10.0.0 build 95001 i86_n3
15:52:02 (hldcd) Using options file: "C:\Program Files\Common Files\HeartLandData\lic\hldcd.opt"
15:52:02 (hldcd) Server started on hldc-PC for:
15:52:02 (hldcd) DT10CSTD (consisting of:          DT10STD
15:52:02 (hldcd) DT10CVT)
15:52:02 (hldcd) EXTERNAL FILTERS are OFF
15:52:02 (hldcd) ALL FEATURES: INACTIVITYTIMEOUT set to 900 seconds
15:52:02 (lmgrd) hldcd using TCP-port 49155
15:53:38 (hldcd) TCP_NODELAY NOT enabled
15:53:38 (hldcd) OUT: "DT10CSTD" hldc@hldc-pc
15:53:38 (hldcd) OUT: "DT10STD" hldc@hldc-pc
15:53:57 (hldcd) IN: "DT10STD" hldc@hldc-pc
15:53:57 (hldcd) IN: "DT10CSTD" hldc@hldc-pc
```

サーバーホスト

ライセンスファイル

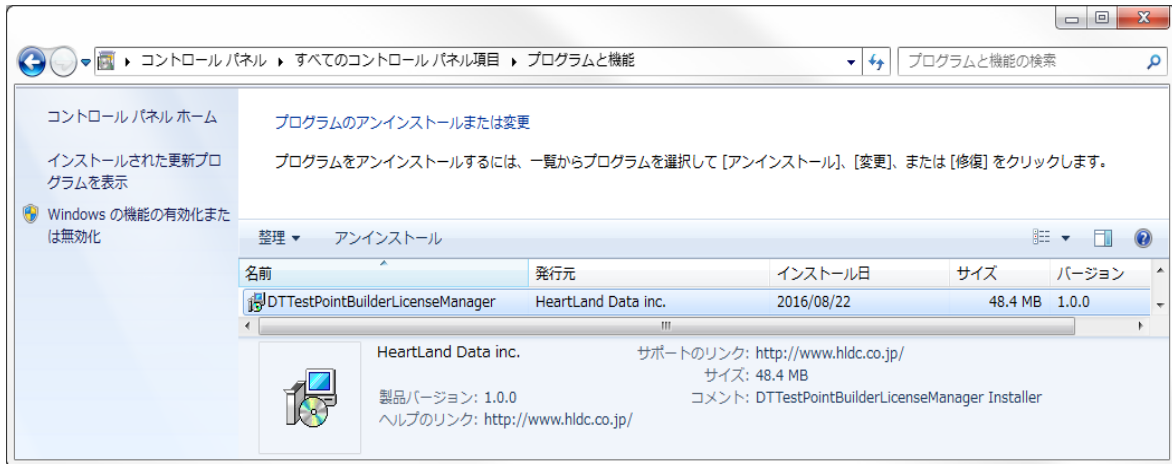
クライアント PCからのチェックアウト

クライアント PCからのチェックイン

3.1.6. ライセンスマネージャのアンインストール

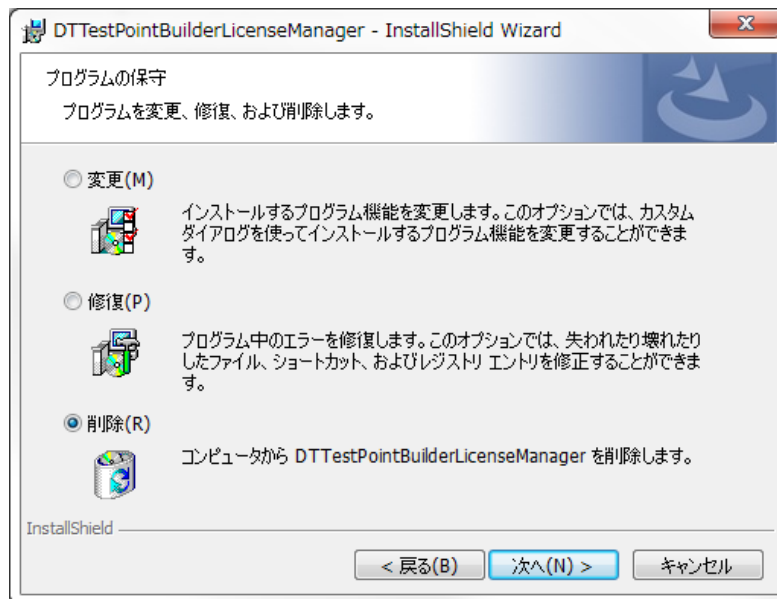
◀ 「プログラムの追加と削除」からのアンインストール ▶

「コントロールパネル」→「プログラムと機能」より、「DTTestPointBuilderLicenseManager」を選択し「アンインストール」してください。




◀ 「setup.exe」からのアンインストール ▶

セットアップ時に使用した「setup.exe」を実行すると、インストール済みの DTTestPointBuilderLicenseManager をアンインストールする事ができます。



「プログラムの保守」画面が表示されたら、「削除」を選択して、処理を続行してください。

 注意	<p>DTTestPointBuilderLicenseManager として使用するマシンを変更したい場合には、弊社窓口へご相談ください。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------

3.2. Windowsサーバーのライセンス更新

3.2.1. ライセンスサーバーマシンにおける更新

以下の方法でライセンスファイルの更新を行ってください。

※ソースコード構造解析エンジン用ライセンスファイル(license.dat)の更新は必要ございません。

◀ ライセンスマネージャ制御ツール「LMTOOLS」を使って更新する ▶

1. ライセンスマネージャをインストールしたフォルダにある lmttools.exe を起動します。
(デフォルトは、起動ディスクの”¥Program Files¥Common Files¥HeartLandData¥bin”です)
2. 表示された LMTOOLS ウィンドウで、「Config Services」タブをクリックします。
3. 「Path to the license file」項目の「Browse」ボタンをクリックし、表示されるファイル選択ダイアログからライセンスデータファイルを選択します。
4. LMTOOLS ウィンドウの右上のクローズボタン「x」で閉じます。
5. 「Would you like to save the settings for the service?」というメッセージが表示されますので、「はい」を選択します。
6. サーバマシンを再起動します。

3.2.2. クライアントマシンにおける更新

既存の DT10 ライセンスファイル(*.lic)を保存されているフォルダに、

新しい DT10 ライセンスファイル(*.lic)を保存します。

期限切れの既存のライセンスファイルは、必ず削除してください。

同一フォルダに保存されたままである場合、ライセンスが有効になりません。

※ソースコード構造解析エンジン用ライセンスファイル(prioritylicense.dat)の更新は必要ございません。

3.2.3. ライセンシングの確認

・ライセンシング動作確認は、[【3.1.5.ライセンシングの確認】](#)をご覧ください。

3.3. Linuxサーバーのセットアップ

フローティングライセンスシステムを利用する場合、ライセンスサーバーマシンが必要になります。

本章では、ライセンスサーバーに Linux マシンを使用する場合における DT10AutomotiveEditionLicenseManager(ディーディーテンオートモティブライセンスマネージャ)サービスをインストールする為の準備、及びインストール方法について説明します。

3.3.1. Linuxサーバーのサポートプラットフォーム

OS :


- ・ Red Hat 系 Linux
- ・ SUSE 系 Linux

※32bit 版・64bit 版にそれぞれ対応しています。

バージョンを問わず、現時点で入手可能なバージョンを推奨します。

コンピュータ本体 :

- ・ Pentium 100MHz 相当以上のプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータを推奨
- ・ 空きメモリ 5MByte 以上を推奨
- ・ 空きディスク 10MByte 以上


 注意	<p>インストールには、管理者権限が必須になります。</p> <p>管理者権限を持ったユーザーで、インストールを実行してください。</p>
	<p>クラウドサーバーにおいて以下の環境はご利用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インスタンスの再起動などにより、MACアドレスが変動する環境ではご利用できません。 ・コンテナ環境でのご利用はできません。
	<p>Windows のリモートデスクトップ接続などターミナルサービスの接続を経由して使用するには、リモートデスクトップに対応した有償のライセンスが必要です。</p> <p>ライセンス変更・購入についてのお問い合わせは担当営業までご連絡ください。</p>

3.3.2. セットアップ前の確認事項

DT10AutomotiveEditionLicenseManager をインストールする PC について以下の三点をご確認ください。

- 27000 番～27009 番のポートの 2 個を解放可能なこと。
ライセンスサーバー用に 27000 番～27009 番のポートの内 2 個のポートを使用します。
- ソースコード構造解析エンジン用の 9001 番のポートを解放可能なこと。
ネットワーク上にファイアウォール等が導入されている場合、クライアントからライセンスサーバーへの接続が遮断されますので、UDP ポート番号の 9001 の通信を許可する設定を行ってください。
- 再起動が可能な PC であること。
インストール終了後、PC を再起動させる必要があります。

3.3.3. ライセンスマネージャのインストール

 注意	<p>既に DT10 の LicenceManager をインストールしている場合は、 必ずアンインストールしてから、DT10AE の LicenceManager をインストールしてください。</p> <p>ライセンスデータファイル(.lic)はサーバーPC、クライアント PC の両方で使用しますので、コピーしてください。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1. DT10AELM_For_XX_x86_64.tar.gz を任意のフォルダで解凍します。
2. 1.で作成されたフォルダ(DT10ServerFiles)に、「ライセンスデータファイル(.lic ファイルと.dat ファイル)」をコピーします。
3. コマンド・ライン端末で、上記のフォルダに移動(cd)します。
cd DT10ServerFiles
4. 管理者モードにします。
su
パスワード : (管理者モードのパスワードを入力)
5. 引数にライセンスデータファイル名を指定して、サーバーセットアップ用のシェルスクリプトを実行します。
./DT10LM_Install.sh .lic ライセンスデータファイル名 .dat ライセンスデータファイル名

6. 以下のように表示されれば、正常にセットアップされ、ライセンスマネージャが起動されます。

Copying files...

Setting a license file.

Regist a service.


Start a service.

Starting lmgrd -c /usr/local/DT10LM/lic -l /usr/local/DT10LM/logs/dt10_lic_sv.log: [OK]


Starting almd -f /usr/local/scitools/und?lic_sv.log -l /usr/local/scitools/conf/license/lisence.dat -z: [OK]

DT10 license manager setup is completed.

インストール作業は以上で終了です。

 注意	<p>DT10AutomotiveEditionLicenseManager は付属のシェルスクリプトによってセットアップされます。 以下に必要なファイルがコピーされます。(DT10LM フォルダはスクリプトによって作成されます)</p> <p>/usr/local/DT10LM</p> <p>/usr/local/scitools</p> <p>もし、上記とは異なる場所に配置したい場合は、以下の各シェルスクリプトのフォルダの記述を任意のパスに書き換えてから実行してください。</p> <p>DT10LM_Install.sh の 2 行目の以下の行</p> <p>DT10_LM_EXTRACT=/usr/local</p> <p>DT10lmsvr の 6 行目の以下の行</p> <p>DT10_LM_HOME=/usr/local/DT10LM</p> <p>almsvr の 11 行目の以下の行</p> <p>UND_LM_HOME=/usr/local/scitools</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3.3.4. クライアントマシンのセットアップ

 注意	<p>ライセンスデータファイル(.lic)はサーバーPC、クライアント PC の両方で使用しますので、コピーしてください。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------

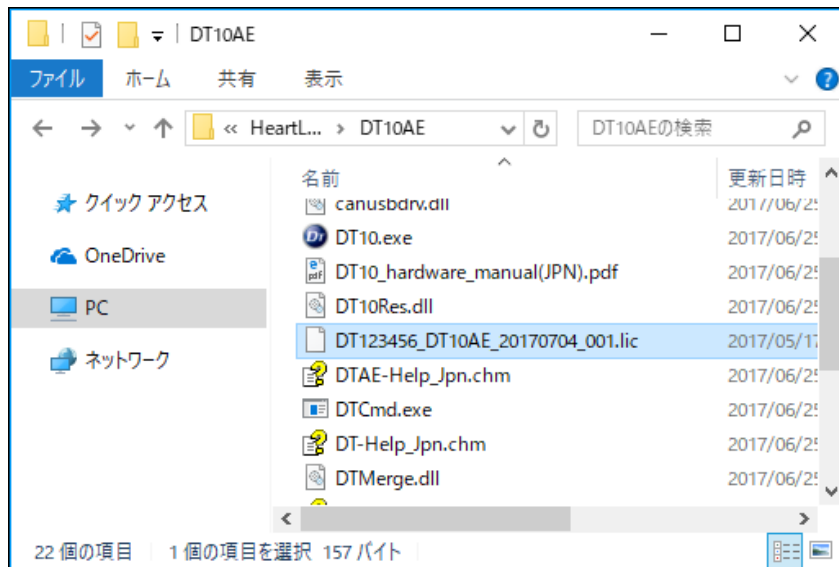
クライアントマシンに DT10AE アプリケーションをインストールします。

インストール方法の詳細は、【[1_DT10 Automotive Edition のインストール](#)】をご覧ください。

1. アプリのインストール後、インストールフォルダにライセンスデータファイル(*.lic)をコピーします。

ライセンスファイルのコピー先 : [Program Files Path]HeartLandData¥DT10AE

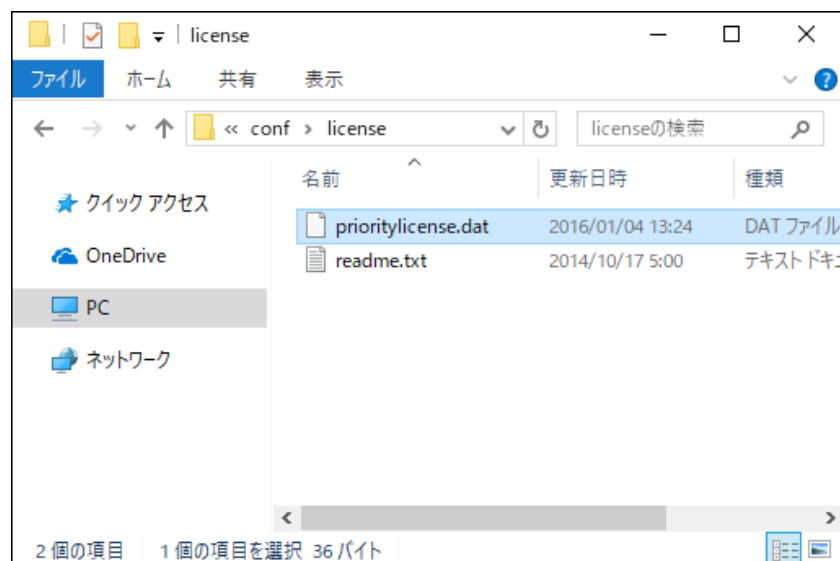
※[Program Files Path]はマシンに依存します(起動 OS のドライブ名等)。



2. ソースコード構造解析エンジン用ライセンスファイル(prioritylicense.dat)を、以下のフォルダにコピーします。

ライセンスファイルのコピー先 : [Program Files Path]HeartLandData¥DT10AE¥Tool¥SciTools¥conf¥license

※[Program Files Path]はマシンに依存します(起動 OS のドライブ名等)。

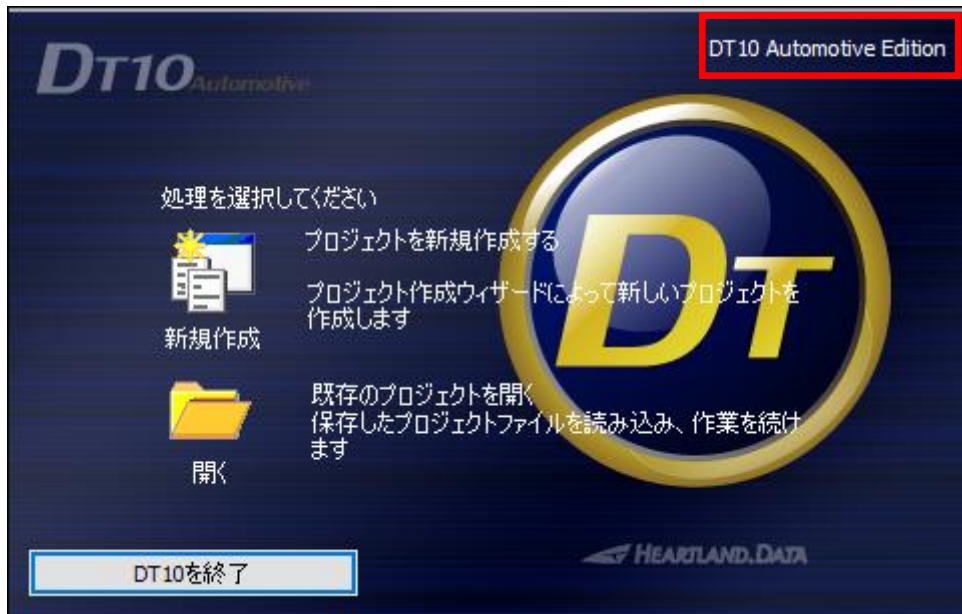


3.3.5. ライセンシングの確認

クライアントマシンで DT10AE アプリケーションを起動します。

正常にライセンスが動作している場合、スプラッシュ画面の右上に「DT10 Automotive Edition」と表示されます。

ライセンスが無効、認識できない状態では、「FreeEdition」として起動します。



また、Imgrd のデーモンが出力するログファイルからも動作の確認を行えます。

以下にあるログファイル「dt10_lic_sv.log」をテキストエディタで開きます。

```
/usr/local/DT10LM/logs/dt10_lic_sv.log
```

クライアントマシンからチェックイン、チェックアウトが正常に行われた場合、ログファイルの内容は、【[図 3.3.5 ログファイルの確認](#)】のようになります。

もし Standard Edition で起動できない場合は、【[3.5 フローティングライセンスに関するトラブルシューティング](#)】を確認ください。

【図 3.3.5 ログファイルの確認】

```

15:52:02 (lmgrd) -----
15:52:02 (lmgrd) Please Note:
      :
      :
15:52:02 (lmgrd) -----
15:52:02 (lmgrd)
15:52:02 (lmgrd)
15:52:02 (lmgrd) pid 1924
15:52:02 (lmgrd) Done rereading
15:52:02 (lmgrd) FLEXnet Licensing (v11.10.0.0 build 95001 i86_n3) started on FTSPRV(IBM PC) (11/8/2013)
15:52:02 (lmgrd) Copyright (c) 1988-2011 Flexera Software, Inc. All Rights Reserved.
15:52:02 (lmgrd) US Patents 5,390,297 and 5,671,412.
15:52:02 (lmgrd) World Wide Web: http://www.flexerasoftware.com
15:52:02 (lmgrd) License file(s): C:\Program Files\Common Files\HeartLandData\lic\DT123456_20131130 STD_1.lic
15:52:02 (lmgrd) lmgrd tcp-port 27000
15:52:02 (lmgrd) Starting vendor daemons ...
15:52:02 (lmgrd) Started hldcd (pid 1960)
15:52:02 (hldcd) FLEXnet Licensing version v11.10.0.0 build 95001 i86_n3
15:52:02 (hldcd) Using options file: "C:\Program Files\Common Files\HeartLandData\lic\hldcd.opt"
15:52:02 (hldcd) Server started on hldc-PC for:
15:52:02 (hldcd) DT10CSTD (consisting of:      DT10STD
15:52:02 (hldcd) DT10CVT)
15:52:02 (hldcd) EXTERNAL FILTERS are OFF
15:52:02 (hldcd) ALL FEATURES: INACTIVITY TIMEOUT set to 900 seconds
15:52:02 (lmgrd) hldcd using TCP-port 49155
15:53:38 (hldcd) TCP_NODELAY NOT enabled
15:53:38 (hldcd) OUT: "DT10CSTD" hldc@hldc-pc
15:53:38 (hldcd) OUT: "DT10STD" hldc@hldc-pc
15:53:57 (hldcd) IN: "DT10STD" hldc@hldc-pc
15:53:57 (hldcd) IN: "DT10CSTD" hldc@hldc-pc

```

サーバーホスト

ライセンスファイル



クライアント PCからのチェックアウト

クライアント PCからのチェックイン

3.3.6. ライセンスマネージャのアンインストール

DT10AutomotiveEditionLicenseManager 一式をアンインストールする場合は、管理者モードで、以下のシェルスクリプトを実行します。

```
./DT10LM_Uninstall.sh
```

 注意	<p>DT10AutomotiveEditionLicenseManager として使用するマシンを変更したい場合には、弊社の担当営業、または、お問い合わせ窓口へご相談ください。</p>
 注意	<p>インストール用のスクリプト同様、ファイル一式の配置場所を変更している場合は、上記スクリプトの 2 行目のパスの記述を変更してください。</p> <p>何らかの要因でライセンスマネージャが停止している場合や、インストールが失敗しているような場合は、いくつかのコマンド実行時にエラーが表示されますが、スクリプトは最後まで(関連ファイルの削除)実行されます。</p>

3.4. Linuxサーバーのライセンス更新

3.4.1. ライセンスサーバーマシンにおける更新

- ・下記の場所にある「古いライセンスデータファイル(.lic)」を削除します。

`/usr/local/DT10LM/lic`

- ・上記の場所に「新しいライセンスデータファイル(.lic)」をコピーします。
- ・サーバーマシンを再起動します。

※ソースコード構造解析エンジン用ライセンスファイル(`license.dat`)の更新は必要ございません。

3.4.2. クライアントマシンにおける更新

既存の DT10 ライセンスファイル(*.lic)を保存されているフォルダに、

新しい DT10 ライセンスファイル(*.lic)を保存します。

期限切れの既存のライセンスファイルは、必ず削除してください。

同一フォルダに保存されたままである場合、ライセンスが有効になりません。

※ソースコード構造解析エンジン用ライセンスファイル(`prioritylicense.dat`)の更新は必要ございません。

3.4.3. ライセンシングの確認

- ・ライセンシング動作確認は、[【3.3.5.ライセンシングの確認】](#)をご覧ください。

3.5. フローティングライセンスに関するトラブルシューティング

◀ DTTTestPointBuilderLicenseManager のインストール中に「プログラム互換性アシスタント」が表示される。 ▶

「プログラム互換性アシスタント」は Windows Vista 以降のOSの場合に表示されることがあります。



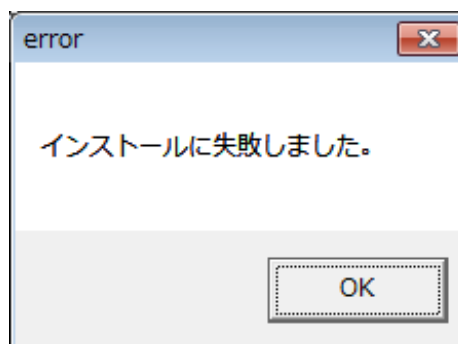
セットアップ処理中に起動する installs.exe(インストール先に展開されるファイルの一つ)により表示されるものです。

installs.exe は、「プログラムと機能」に追加されないために確認のメッセージが表示されています。

正しい動作ですので、上記のウィンドウが表示された場合には「このプログラムは正しくインストールされました」を選択して、ウィンドウを閉じてください。

◀ DTTTestPointBuilderLicenseManager のインストールに失敗する。 ▶

DTTTestPointBuilderLicenseManager のインストール中、ライセンスファイル指定後に「実行」ボタンをクリックした後、下記のようなエラーメッセージが出る場合があります。



以下のことが原因として考えられます。

- ・同名サービス(DTTTestPointBuilderLicenseManager)が既に登録されている(「コンピューターの管理」画面よりご確認ください)
- ・インストール先のフォルダに installs.exe が正しく展開されていない(インストール指定先に installs.exe があるかご確認ください)
- ・管理者権限でセットアップを実行していないなどがあります。

◀ ライセンスサーバーの Windows サービスで DTLicenseManager が見つからない。または、停止になっている ▶

サービス(DTLicenseManager)が登録されていない場合は、インストールがうまくいかなかった可能性がございます。

DTTestPointBuilderLicenseManager をアンインストールし、再度インストールしてください。

また、サービス(DTLicenseManager)が停止になっている場合は、

実行中に変更し、ライセンスの確認を行ってください。

◀ ライセンスサーバーのログファイルの確認方法 ▶

以下の状況におけるログファイルの内容を説明します。

1. [ライセンスデータの登録を間違えている\(サーバーインストールの手順間違い\)](#)
2. [指定の情報\(IP アドレス\)でサーバホストを特定できない。](#)
3. [指定の情報\(MAC アドレス\)に間違いがある。](#)
4. [ライセンスチェックの通信がファイアウォールによって遮断されている。](#)
5. [ライセンスの期限が切れている。](#)

1. ライセンスデータの登録を間違えている(サーバーインストールの手順間違い)

```

17:40:33 (lmgrd) -----
17:40:33 (lmgrd) Please Note:
          :
          :
17:40:33 (lmgrd) -----
17:40:33 (lmgrd)
17:40:33 (lmgrd)
17:40:33 (lmgrd) pid 1988
17:40:33 (lmgrd) license manager: can't initialize:Cannot find license file.
17:40:33 (lmgrd) The license files (or license server system network addresses) attempted are
17:40:33 (lmgrd) listed below. Use LM_LICENSE_FILE to use a different license file,
17:40:33 (lmgrd) or contact your software provider for a license file.
17:40:33 (lmgrd) Filename: "C:¥flexlm¥license.dat"
17:40:33 (lmgrd) License Path: "C:¥flexlm¥license.dat"
17:40:33 (lmgrd) FLEXnet Licensing error:-1,359
17:40:33 (lmgrd) System Error:2 No such file or directory
17:40:33 (lmgrd) For further information, refer to the FLEXnet Licensing documentation,available at
"www.flexerasoftware.com".
17:40:33 (lmgrd) Using license file "C:¥flexlm¥license.dat"

```

ライセンスデータファイルが見つからないことを示しています。

ライセンスデータファイル名が違います。

ライセンスデータの登録が間違えている場合、「can't initialize:Cannot find license file.」や「No such file or directory」というメッセージが表示されます。

その場合、ライセンスデータのパスを確認し、その場所にライセンスデータファイルがあるのかを確認してください。

ライセンスデータファイルの登録場所が間違っている場合、ライセンスマネージャをインストールしたフォルダにある lmtools.exe を使用して、パスを変更してください。

パスの変更手順は以下の通りです。

- 1) ライセンスマネージャをインストールしたフォルダにある lmtools.exe を起動します。
(デフォルトは、起動ディスクの”¥Program Files¥Common Files¥HeartLandData¥”です)
- 2) 表示された LMTTOOLS ウィンドウで、「Config Services」タブをクリックします。
- 3) 「Path to the license file」項目の「Browse」ボタンをクリックし、表示されるファイル選択ダイアログからライセンスデータファイルを選択します。
- 4) LMTTOOLS ウィンドウの右上のクローズボタン「x」で閉じます。
- 5) 「Would you like to save the settings for the service?」というメッセージが表示されますので、「はい」を選択します。
- 6) マシンを再起動します。

2. 指定の情報(IP アドレス)でサーバホストを特定できない。

```

17:10:06 (lmgrd) -----
17:10:06 (lmgrd) Please Note:
                :
                :
17:10:06 (lmgrd) -----
17:10:06 (lmgrd)
17:10:06 (lmgrd)
17:10:06 (lmgrd) pid 500
17:10:07 (lmgrd) "FTPSRV": Not a valid server hostname, exiting.
17:10:07 (lmgrd) Valid license server system hosts are: "192.168.2.100"
17:10:07 (lmgrd) Using license file "C:\¥DT10¥DT123456_STD_20140228_002.lic

```

ライセンスデータファイルが見つからないことを示しています。

指定の情報(IP アドレス)でサーバホストを特定できない場合、「"ホスト名": Not a valid server hostname, exiting.」「Valid license server system hosts are: "XXX.XXX.XXX.XXX"」というメッセージが表示されます。

サーバーの IP アドレスを確認してください。IP アドレスに間違いがある場合はライセンスファイルをエディタで開き、IP アドレスを変更してください。

また、IP アドレスが固定できない環境の場合、IP アドレスの代わりにホスト名に変更することも可能です。

```

SERVER xxx.xxx.xxx.xxx AABBCDDDEEFF 27000
VENDOR hldcd port=27001

```

IPアドレスを変更またはホスト名に変更して保存してください。

変更後、保存していただきサーバーPCとクライアントPCのライセンスファイルを差し替えてご確認ください。

ライセンスが認識しましたら、次回ライセンス更新時には、以前いただいた情報(変更前の IP アドレス)を指定してライセンス発行となりますので、弊社ホームページ「[ライセンス再発行のご依頼](#)」をご参照いただき必要書類を記載の上、ご連絡ください。

3. 指定の情報(MAC アドレス)に間違いがある。

```

17:05:39 (hldcd) FLEXnet Licensing version v11.10.0.0 build 95001 i86_n3
17:05:39 (hldcd) Server started on FTPSRV for:
17:05:39 (hldcd) DT10CSTD (consisting of: DT10STD
17:05:39 (hldcd) DT10CVT)
17:05:40 (hldcd) Wrong hostid on SERVER line for license file:
17:05:40 (hldcd) C:\¥DT_Lic¥DT123456_STD_20130701_002.lic
17:05:40 (hldcd) SERVER line says f8b156cd1eba, hostid is "f8b156cd1ebc"

```

MACアドレスが間違っていることを示しています。

指定の情報(MAC アドレス)でサーバホストを特定できない場合、

「SERVER line says xxxxxxxxxxxx, hostid is "xxxxxxxxxxxx"」というメッセージが表示されます。

その場合、サーバーPCのMACアドレスをご確認ください。

MACアドレスに間違いがある場合、ライセンス再発行が必要になります。

弊社ホームページ「[ライセンス再発行のご依頼](#)」をご参照いただき必要書類を記載の上、ご連絡ください。

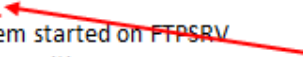
4. ライセンスチェックの通信がファイアウォールによって遮断されている。

```
17:22:42 (lmgrd) -----
17:22:42 (lmgrd) Please Note:
                :
                :
17:22:42 (lmgrd) -----
17:22:42 (lmgrd)
17:22:42 (lmgrd)
17:22:42 (lmgrd) pid 2000
17:22:42 (lmgrd) Done rereading
17:22:42 (lmgrd) FLEXnet Licensing (v11.10.0.0 build 95001 i86_n3) started on FTPSRV (IBM PC) (5/2/2013)
17:22:42 (lmgrd) Copyright (c) 1988-2011 Flexera Software, Inc. All Rights Reserved.
17:22:42 (lmgrd) US Patents 5,390,297 and 5,671,412.
17:22:42 (lmgrd) World Wide Web: http://www.flexerasoftware.com
17:22:42 (lmgrd) License file(s): C:¥DT_Lic¥DT123456_STD_20130701_002.lic
17:22:42 (lmgrd) lmgrd tcp-port 27000
17:22:42 (lmgrd) Starting vendor daemons ...
17:22:42 (lmgrd) Started hldcd (pid 328)
17:22:43 (hldcd) FLEXnet Licensing version v11.10.0.0 build 95001 i86_n3
17:22:43 (hldcd) Server started on FTPSRV for: DT10STD
17:22:43 (hldcd) EXTERNAL FILTERS are OFF
17:22:43 (lmgrd) hldcd using TCP-port 49155
```

通常、DT10AE アプリを起動し、ライセンスを取得すると、「OUT: “エディション” クライアント PC 名」というメッセージが表示されます。(クライアント PC がアプリを起動しライセンスを取得することを「チェックアウト」、ライセンスを返却することを「チェックイン」と言います。)
通信がファイアウォールによって遮断されている場合、上記の様に起動メッセージの後に、チェックアウトしたメッセージが表示されません。その場合、指定のポート(通常は 27000 番)が開放されているか、サーバー管理者に確認してください。

5. ライセンスの期限が切れている。

```
17:08:29 (lmgrd) -----
17:08:29 (lmgrd) Please Note:
                :
                :
17:08:29 (lmgrd) -----
17:08:29 (lmgrd)
17:08:29 (lmgrd)
17:08:29 (lmgrd) pid 1984
17:08:29 (lmgrd) Done rereading
17:08:29 (lmgrd) FLEXnet Licensing (v11.10.0.0 build 95001 i86_n3) started on FTPSRV (IBM PC) (7/2/2013)
17:08:29 (lmgrd) Copyright (c) 1988-2011 Flexera Software, Inc. All Rights Reserved.
17:08:29 (lmgrd) US Patents 5,390,297 and 5,671,412.
17:08:29 (lmgrd) World Wide Web: http://www.flexerasoftware.com
17:08:29 (lmgrd) License file(s): C:\DT_Lic\DT123456_STD_20130701_002.lic
17:08:29 (lmgrd) lmgrd tcp-port 27000
17:08:29 (lmgrd) Starting vendor daemons ...
17:08:29 (lmgrd) Started hldcd (pid 2012)
17:08:30 (hldcd) FLEXnet Licensing version v11.10.0.0 build 95001 i86_n3
17:08:30 (hldcd) EXPIRED: DT10STD
17:08:30 (hldcd) License server system started on FTPSRV
17:08:30 (hldcd) No features to serve, exiting
17:08:30 (hldcd) EXITING DUE TO SIGNAL 27 Exit reason 4
17:08:34 (lmgrd) hldcd exited with status 27 (No features to serve)
17:08:34 (lmgrd) hldcd daemon found no features. Please correct
17:08:34 (lmgrd) license file and re-start daemons.
17:08:34 (lmgrd)
17:08:34 (lmgrd) This may be due to the fact that you are using
17:08:34 (lmgrd) a different license file from the one you expect.
17:08:34 (lmgrd) Check to make sure that:
17:08:34 (lmgrd) C:\DT_Lic\DT123456_STD_20130701_002.lic
17:08:34 (lmgrd) is the license file you want to use.
17:08:34 (lmgrd)
```



ライセンスの期限が切れていることを示しています。

ライセンスの期限が切れている場合、「EXPIRED: DT10STD」というメッセージが表示されます。

その場合、保守サポートを契約中のお客様は、ライセンスを発行いたします。

サポートまでお問い合わせください。

弊社サポートページの最新 FAQ もご参考になさってください。

URL: <http://hldc.co.jp/support/dt10-support/dt10-faq/>

◀ DT-ProjectBuilder でテストポイント挿入時に「ソースコードの構造解析を実行するためのライセンスが見つかりませんでした。」と表示される。▶

以下のいずれかの方法で対処してください。

- ライセンスサーバー側の PC で、タスクマネージャーを起動していただき、以下のサービスが起動していることを確認してください。

almdServiceAlt

停止になっている場合は実行中に変更していただき、再度ライセンスの確認をしてください。

また、アンインストール後、再度インストールしてください。

- ライセンスサーバーPC とクライアント PC でファイアウォール、セキュリティソフトを OFF にしていただき、ライセンスが認識するかご確認ください。
- ライセンスサーバーPCのファイアウォールの設定で、UDP ポート 9001 番が許可されているかご確認ください。
- ライセンスサーバーPC とクライアント PC で以下のコマンドを実行していただき、エラーが発生しないかご確認ください。

またこちらの内容を技術サポート(user@hldc.co.jp)までご送付ください

■ライセンスサーバーPC

・64bit の場合

```
> cd C:\Program Files (x86)\Common Files\HeartLandData\SciTools\bin\pc-win32
> almstatus -l "C:\Program Files (x86)\Common Files\HeartLandData\SciTools\conf\license\license.dat"
```

・32bit の場合

```
> cd C:\Program Files\Common Files\HeartLandData\SciTools\bin\pc-win32
> almstatus -l "C:\Program Files\Common Files\HeartLandData\SciTools\conf\license\license.dat"
```

■クライアント PC

・64bit の場合

```
> cd C:\Program Files (x86)\HeartLandData\DT10AE\Tool\SciTools\bin\pc-win32
> almstatus -l "C:\Program Files (x86)\HeartLandData\DT10AE\Tool\SciTools\conf\license\prioritylicense.dat"
```

・32bit の場合

```
> cd C:\Program Files\HeartLandData\DT10AE\Tool\SciTools\bin\pc-win32
> almstatus -l "C:\Program Files\HeartLandData\DT10AE\Tool\SciTools\conf\license\prioritylicense.dat"
```

- ホスト名を IP アドレスに変更すると認識する場合がございます。
必要に応じてエディタで license.dat と prioritylicense.dat のホスト名を IP アドレスに変更して PC の再起動後にライセンスをご確認ください。

・license.dat

```
# license.dat - license file SciTools products
# STI number: sti06404
# Company: Heartland.Data Inc.
# Issue date: 2021-03-24
# Number of days users can checkout a license, 1-31. Set to 0 to disable
ToGo: 0

Server: hostname aabbccdd 9001
```

•prioritylicense.dat

```
Server: hostname 00000000 9001|
```

- UDP ポート 9001 番が別で使用されている場合は、ポート番号を変更すると認識する場合がございます。

必要に応じてエディタで license.dat と prioritylicense.dat のポート番号を変更して PC の再起動後にライセンスをご確認ください。

•license.dat

```
# license.dat - license file SciTools products
# STI number: sti06404
# Company: Heartland.Data Inc.
# Issue date: 2021-03-24
# Number of days users can checkout a license, 1-31. Set to 0 to disable
ToGo: 0

Server: hostname aabbccdd 9001
```

•prioritylicense.dat

```
Server: hostname 00000000 9001|
```

上記でも解決しない場合は、弊社サポートまでご連絡ください。

ハートランド・データ株式会社

ユーザーサポート担当

E-mail : user@hldc.co.jp

4. 変更履歴

日付	バージョン	変更内容(□の数値は該当項目番号と頁を指す)
2018.04.27	Ver.1.0.0	インストールマニュアルの刷新。
2018.09.03	Ver.1.0.1	フローティングライセンスの注意事項を追加しました。
2019.06.24	Ver.1.0.2	サポートプラットフォームを更新しました。
2021.04.23	Ver.1.0.3	フローティングライセンスのセットアップを更新しました。
2021.05.21	Ver.1.0.4	フローティングライセンスに関するトラブルシューティングを更新しました。



〒326-0338 栃木県足利市福居町 361

TEL:0284-22-8791 / FAX:0284-22-8792

URL:<http://www.hldc.co.jp>